

漕 魂

32号

2011年

長崎大学医学部漕艇部



漕 魂

32号

2011年
長崎大学医学部漕艇部

中國
精誠實業公司

卷頭言

我等が六歳を契る

絢爛の其の宴は実に過ぎ易し

然れども見ずや先達の嚆矢、

古りて猶燦然として輝き

我等が矜持、久遠に逸せざるを

友達よ、然に明日の運命を嘆かんよりは、

此の虞美露々丘に集いて、

去りては再び歸らざる

若き日の感激を謳わん。

漕魂の歌

作詞：今里雅之

作曲：岩谷 怜

一. 街を離れ ひたすらに

子々川の海へ 滑り出す

心地良い風 潮の薫り

キャッチロー キャッチロー

にじんだ汗が 流れだす

パドル行こう さあ行こう

二. 水を切り 走る崎陽の

シュルルと放つ 快音は

朝もやの海に 似合っている

キャッチロー キャッチロー

心待つのは 安らぎの

オールメン イージーオール

オールメン イージーオール

三. スタート前の 緊張が

競り合う 気概と足蹴りに

ピッチを上げろ コックスの声

キャッチロー キャッチロー

燃え尽きんと 漕ぎ続け

ああ喜びの トップゴール

琵琶湖周航の歌

作詞・作曲：小口太郎

我は海の子 さすらいの

旅にしあれば しみじみと

昇る狭霧や さざ波の

滋賀の都よ いざさらば

松が緑に 砂白き

雄松が里の 処女子は

赤い椿の 森陰に

はかない恋に 泣くとかや

波のまにまに 漂えば

赤い泊火 懐かしみ

行方定めぬ 波枕

今日は今津か 長浜か

瑠璃の花園 珊瑚の宮

古い伝えの 竹生島

仏の御手に 抱かれて

眠れ処女子 安らげく

目次

〈特集〉

会葬御礼

村山晋先生 奥様

2

村山先生を偲んで

田川泰先生

2

田中精一先生

5

井上健一郎先生

6

山近史郎先生

6

丹羽正美先生

7

〈ご寄稿〉

福井 雅士 先生

9

〈活動報告〉

昨年度主将挨拶 (水野)

11

新主将挨拶 (大井)

12

新入生紹介

13

○八↓○九年度試合結果報告

16

○九↓一〇年度試合結果報告

22

○九↓一〇年度コックス記

29

部員雑感

44

〈OB会〉

二〇〇九年度OB総会議題一覧

57

平成二二年度長崎大学医学部漕艇部OB会収支報告

58

長崎大学医学部漕艇部OB会会則

59

長崎大学医学部漕艇部OB会会員名簿

60

長崎大学医学部漕艇部OB会役員名簿

69

長崎大学医学部漕艇部OB会賛助会員名簿

70

〈ホームページ紹介、OBメーリングリストご案内〉

71

〈編集後記〉

72

会葬御礼

楽しみはゆく先へ

持って行って下さいね

幸せでしたよ ありがとう

村山 智子

夫は明るい性格で、話好き、そして何より人が大好き。医療人として、命に真摯に向き合う誇りと責任を旨に一生懸命を尽くしました。

忙しく過ぎゆく日々のうちでも、時間を見付けては旅行に出掛け、時にはミュージカルや演劇を楽しみ、ライブハウスに足を運ぶなど心豊かに綴った在りし日。瞳を輝かせてページをめくり活字を追う様子や、四十の手習いで始めたサックスの練習に励む姿もまだまだ記憶に鮮やか過ぎて別れの寂しさが胸を占めます。

これからもつと沢山の趣味を謳歌できたはず…。

そう思えば心残りには暮るばかりですが、きつと夫のことですから、遥か彼の地でも好きなことを見付けてくれることと信じて今は、感謝の気持ちで永久の旅路を見送りま

す。
夫、村山晋は、平成二十二年八月二十日、実り豊かな五十六歳の生涯を静かにとじました。

笑顔溢れる時間を分かち合って下さった方々や温かな心遣いで支えて頂いた皆様へ、深く感謝を申し上げます。

本日のご会葬 誠に有難うございました。

略儀ながら書状をもって謹んで御礼申し上げます。

平成二十二年八月二十日

村山先生を偲んで

村山君から真夏の便り

昭和五〇年卒 田川 泰

まだ、病気の疲れが癒えず、大学の講義・会議が終了すると、直ぐに帰宅して自宅のベットに横になっていた。その時、ぼくの携帯電話に保健学科の助教の女先生から電話がかかってきた。「田川先生、先生を五階の研究室まで訪ねてこられた中年の方が、伝言を残して帰宅されました。すこし気になりましたので電話をさしあげました」。村山君の伝言ノートは翌日拝見したのだが、以下のごとくである。「ボート部の村山です。六月二十一日から六月二十五日の予定で、長崎大病院皮膚科に入院しています。挨拶が遅くなり、また本日は突然にお邪魔してすみません。

明日もう一度電話を入れます。明日夕方退院し、福岡に帰る予定です」。なぜ三重から田舎の長崎大学病院皮膚科に入院か？直ぐに村山君の携帯電話（電話は助教先生の連絡直後）に連絡を取った。電話での声は元気よく、すこしか高い声で「大学病院に入院しています。目の前に先生の居られる建物が見えましたので、顔を見たくて坂を上がつてきました。実は強皮症で間質肺炎まで併発しているみたいです。実は強皮症で間質肺炎まで併発しているみたいです。ちゃんとした診断してもらいたくて長崎大学病院に入院して検査を受けたところです。明日、福岡に戻りますが珍しい病気にかかったものですよ。何とか、病気と闘います」。福岡で勤務していたことを初めて知り驚いた。電話で話した膠原病による間質肺炎は難解な病気なので少し気になったが、あの医短の坂（鬼ごろしの坂）を登ったこと、電話の声もいつものかん高い声で活力（向日葵のような力強く明るい風貌からにじみ出る）も、いまの私よりありそうで、治療の方針もこれからみたいだったので、いつものように冗談まじりに頑張るように激励して電話を切った。

八月、あまりの暑さにシャワーを浴びて、午前九時三〇分頃大学に出勤した。保健学科のメールボックスに一通の手紙が届いていた。小さな字体で、村山 晋と青色の封筒に書いてあった。

真夏の村山君の手紙

「暑い日が続きます。お変わりございませんでしょうか。先日は、いきなり、大学研究室を訪ねまして失礼しました。

お電話でもお話ししましたように、昨年六月より手の痺れで発症し、本年一月より自宅の近所の九州医療センター（福岡市）膠原病内科を受診していましたが、中々すつきりとした検査、説明もないままに経過し、そのうちにレイノー症状、労作時の息切れを自覚するようになり、自分では強皮症、間質性肺炎かなと診断しておりましたが、きちんとした診断をつけてもらおうと、九州医療センターの主治医の同意の元、六月二十一日くからになりました六月二十五日の予定で長崎大学皮膚科（主治医 ○○講師）に検査入院をしたのでした。

入院は新しい病棟で、病室からは医療短大（大学改編で医学部保健学科になったのを知らずに、その時はそう思っていました。すみません。）が見え、田川さんに挨拶をしなければと思い、突然押しかけたわけです。

会えなかったのは残念でしたが、声を聞く事が出来、嬉しかったです。

でも間質性肺炎、肺高血圧傾向（心エコーでの評価ですが、肺動脈圧三四く三九mmHg）の身に、あの坂は応えませんでした。心臓がばくばくしました。

長崎大学での検査は全て紹介状として九州医療センター

宛てに書いていただき、そこで、七月二十七日（火）から四〜五週間の予定で、治療入院となりました。

エンドキサンプルス治療（ $1000\text{mg}/\text{回}$ ）にプレドニン内服（ $60\text{mg}/\text{日}$ より開始）の予定です。

強皮症には、まだ余り良い治療はないようですが、医学の進歩を信じて、前向きに生きていこうと思っております。暑さはまだまだ続くようです。田川さんもお身体にお気を付けてください。

七月二十六日 村山 晋

P.S 上記の文面を書いた後、投函が遅くなってしまいました。

本日八月五日、八月三日より薬物治療が始まりました。

以上が村山君の最後の手紙です。

いま考えると「直ぐに投函しなかったこと」に疑問を感じます。また、会ってあげられなかったことに後悔しています。

ありきたりの病気でクヨクヨしている私にとっては、難病に対する「精神的ショック」に一言も触れていない村山君の手紙に驚かされました。

これから、在宅酸素療法の可能性もあるのに、私なら不安神経症になり、このような冷静な手紙はかけません。私自身を励ますように「あまり焦らずに行こうよ」みたいな

返事をだした。しかし、このようにありきたりの返信後、村山君は直ぐに急変して他界するとは：啞然とした。

村山君の葬儀から帰宅後、村山君の死去は私の脳裏に何か刺激したみたいだった。

というのは、最近よく村山君達のクルーの夢を見るのです。学生時代、彼らのクルーとは住吉界隈でよく飲み、練習ではよく鍛いあげ、弟のような存在だったからですね。

枕元に出てくる夢は、いつも子々川の合宿所のパンツ一枚での昼寝の時で、室外は四〇度近いが、畳の部屋の中には爽やかな一陣の海風が通り抜ける午後二〜三時頃の時間帯である。午前中の練習で疲れ切っているのに、腕相撲をしたり、あんまをもらったりしている夢で、村山君達が始めての夏の合宿時の昼休み（この年に、西医体で村山君達のクルーは準優勝）の場面である。あの頃の合宿は楽しかった、前原君の女性経験に羨ましそうに質問している村山君、それをおちよくる小村君、嫌らしい目でみる成松君、水谷君と井上君はニヤニヤして聞いているだけであった。馬鹿みたいに楽しかった（ここまで無邪気に、将来のビジョンを修飾して語れるのか）としみじみと回想し、何とも言えない心地よい海風と青い空の快樂に誘われる夢である。このように足腰も疲労極限になった練習後の一時の快樂は、ボート部の誰しもが味会ったことだと思っただけなので、だれ一人にも話していない。ひまわりのような風貌

の明るい性格の村山君に夢でしかもう逢えないのは寂しい
ものです。…合掌

どうしてそこまで優しくなれるのか

昭和五二年卒 田中 精一

村山君、君はどうしてそこまで優しくなれるのか？ 人は悩み、苦しんだ分だけ優しくなれる、と聞いたことがあるが…。

突然の訃報が届き、思い浮かんだのは彼の優しい笑顔であり、聞こえたのはテノールの歌声であった。笑顔の奥にたしかチャーミングな八重歯があったようにも記憶している。彼の優しさは、うまく表現できないが、深く広く根のあった、余裕のある温かいもので、がちりとして、でも柔らかいものであった。なにか厳しいもので裏打ちされているようにも感じていた。

彼は臨床医として、この笑顔で、その優しさで多くの患者さんたちと接してきたに違いない。そして支えを失くし、途方にくれている多くの患者さんたちが居るに違いない。あの優しさで、もっと多くの患者さん達の助けになることができたのに、と考えると本当に残念だ。

告別式の席に、村山くんが愛用したサックスがさりげな

く置かれ、流れていた明るくも憂いに満ちた生演奏のジャズの調べは、心に深く浸みいるものであった。読経はなくとも、場に適したリズムとメロディーは、高僧達の発する音声に勝るとも劣らないものであった。きつと村山くんの決めた形なのであろう。素晴らしかった。

彼のことをいつまでも記憶しておくことが、部にとつて、また私個人にとつても大切なことであると思つている。彼の医学部入学時、西医体のオープン戦で、漕ぎ方もよく知らない一年生クルーだったが、ただ体力とチームワークのみでメダルを獲得したことが強く印象に残っている。クルーは小倉、井上、前原、村山だったと思うが、彼は、たしかバウを漕いでいた。今までに数人のボート部の仲間が逝つたが、根つこのところにいつもボートがあつたように思う。

天界で、彼は今、サックスを持っているのだろうか？ それともオルを握っているのだろうか？ 聴診器を手にしているのかもしれない。いずれにしてもあの笑顔で御家族を、患者さんたちを、そして我々をみているに違いない。

式の間中、多くの友人達に支えられながらも毅然と座しておられた奥様の姿に重なって、あの村山君が後ろからそつと手を添えていたように見えたのは、勿論、気のせいだったのだろう。

奥様はじめ御家族の皆さまへ、謹んで村山先生の御冥福をお祈り致します。

村山 晋君の思い出

昭和五五年卒 井上健一郎

私が村山君と始めて出会ったのは昭和四九年四月の中部講堂前であつたと思う。ボート部の新人勧誘があり希望者は中部講堂の前に集まるようにとのことで小倉、小村、成松、前原、村山、水谷君達と始めて出会った。そしてそのころボート部が所有していた幌付きの緑色のトラックの荷台に乗せてもらつて子々川の艇庫へ向かつた。その時の村山君の印象は金太郎さんであつた。いつもニコニコした丸い顔、太い手足、まさしく金太郎さんであつた。数えてみれば三六年前のことである。クラブが始まつて同じ艇で村山君がバウ、私が三番を漕ぐことが多かつた。同窓会の先輩方に買つていただいた最初のシエルフォア艇（雲仙という名前だつた）がうまく漕げずに村山君がいわゆる腹切りをやつて海に落ちたことを思い出す。

そんな試行錯誤の練習だつたが練習後村山君が「疲れた」と言うことはあつてもいつもニコニコ、怒つた顔を見ることがはなかつた。

そして夜になるといつまでも酒を飲みながらロマンスアー合唱団で鍛えた歌声で歌う。

当時はカラオケなど無かつたから伴奏なしであるが決まつて歌うのは「男と女の間には深く暗い河がある」で始

まる「黒の舟歌」であつた。村山君と交つたのはたつた六年間でその後の三〇年間はあまり会うこともできなかつたが学生時代の思い出はつきない。

小村君に次いで村山君まで逝つてしまふなんて今回の訃報には涙するばかりである。

学生時代、暗くなつてからボートを漕いだことがあつた（多分ナツクル艇だと思う）。

オールを漕ぐたびに夜光虫が光りながら流れていったその情景が忘れられない。

その同じ時間を共有したのが村山君であつた。

村山さん、もう一度会いたかつた

昭和五七年卒 山近 史郎

村山さんとは私が二年生の時に唐津での西医体において、Bクルーと一緒に漕がせて頂いた。私が整調、村山さんが三番、小村さんが二番、難波さんがバウだつた。

いつも笑顔が絶えず八重歯が印象的であつた。練習前のランニングは脚が速く、筋トレでは怪力であつたことが思い出される。私が同輩である末永や倉富らと言ひ合ひをしていると（決して仲が悪いわけではないのだが）、村山さんから「お前たちよく喧嘩するなあ。山近、ちよつと力り

カリし過ぎだぞ。」と笑顔で言われては、我ながらはっとしたことが昨日の事の様に思い出される。

村山さんの出身は三重県伊勢高校で、卒業後は三重大学内科に入局されたが、一度私は三重大学まで尋ねた事がある。カンファランスに参加して村山さんのプレゼンテーションを見学したりした。その後、少し時間があつたので奥様が車で伊勢市内を案内して下さった。村山さんが、自分忙しいので奥様に私を案内するように伝えておられた様である。本当に優しい先輩であつた。

その後、村山さんと私は同じ循環器内科医として学会場で時折お会いした。二〇〇八年九月の日本心臓病学会では三重の民間病院で忙しくしているとおっしゃっていた。

そして今年二〇一〇年の年賀状には、二〇〇九年四月より福岡の病院に勤務されていることを知った。住所は百道浜で私が小中高校時代に過ごした地だつた。そうか、学会で会つた翌年の春に福岡に来られたのか、一体何故なのだろうと思つたりした。そして年賀状には手書きで「山近の思い出の地百道、出身校の近くに住んでいます。福岡へ来る際は電話下さい。」とあつた。たまに福岡に行くことがあるので、その内会えるかなと思いつつ連絡をとつていなかった。

八月二〇日朝に突然の訃報が届いた。まさか、という驚きと福岡で会えなかつたこと、何で連絡を早く取らなかつたのかという悔やみで涙が止まらなかつた。入院しておら

れた事も知らないままでお見舞いにも行けず、本当にもう一度お会いしたかつた。

七月三日には門司港で同輩である末永、倉富、北川、潮山君らと夫人同伴で久しぶりに一同に会した。今思えば、村山さん御夫妻をお誘いすればよかつたと悔やまれてならない。きつと「みんないつまでも仲良くやつているなあ。」と思われたことだろう。

もつともつと循環器病学や診療の話と一緒にしたかつた。福岡の美味しい店で酒を酌み交わしながら語り合ひたかつた。きつとお会いしたら「元気でやつてる？」といつも笑顔で優しく語りかけてくれたことだろう。

村山さん、安らかに眠り下さい。そして天国からまた優しい笑顔で叱咤激励して下さい。

村山 晋 君を悼む

昭和五〇年卒 丹羽 正美

バウを漕いでいた村山君が、いつもの、あの、少し含羞を帯びた、でも人を包み込むような八重歯の優しい笑顔で、舟から上がってきた堺の住之江漕艇場の昭和四八年（一九七三年）の八月、今もありありとあの暑さを思い出す何とも暑い暑い夏でした、君は入学したばかりの一

年生のクルーで、銀メダル（オープン戦）を獲得したのでした。未だ、僕らの漕艇部が出来たばかりで、部誌の漕魂の名簿では君の卒業年度の昭和五六年は七番目、毎年、予選敗退していた僕ら上級生は、それこそ天にも昇る喜びでした。君のクルーの力強いローイングは、それまで歳ばかり取っていて熱意こそ並外れて練習一筋、でも一向に上達しない僕ら上級生に飽き飽きしていた当時のコーチを本気にさせ、ですから、君のクルーは、僕らの漕艇部を医学生としては一流の今の隆盛へ導いたのです。君は、バウを漕いでいて、皆の後ろで、静かに黙々と、舟の先行きを、舟の軸を決めていたのです。レースや練習の後、成果が上がらず、心が萎えたコックスが、一番後ろにいる君の笑顔に出会って、また再起の勇気を貰ったそうです。力を合わせて、何よりハーモニーが必要なローイングには、君の笑顔がどうしても必要でした。

平成二十二年の八月、やはりあの夏のように暑い暑い夏、君の突然の訃報を聞いた時、君の八重歯の笑顔が浮かびました。何にも言わずに、周りの人々を、ただただ優しく笑顔で包み込んでしまった君の、余りに早すぎた人生を悼みます。医師として、何よりハーモニーが必要な職場で、君は、ハーモニーの源で、共に働く人々を優しく包み込み、そして何より、病める人々を癒したことでしよう。医師として、真摯な悔いのない日々であったことでしょう。でも、君は、君自身の楽しみとか安穏な時間とか、

「僕は、いいですから」と自分の事は後回しに、人に譲ったままで短い人生を駆け抜けたのではなかったかと心が痛みます。今、天国で、先に逝っていた、君の学年のボートの仲間の小村三代治君と、その後輩の松尾圭一君と今里雅之君と、あの夏の日々のようにボートの漕法について議論しているでしょうか。

あのボート部の日々に出会われ、お二人で寄り添って歩んで来られてきた奥様を、優しい笑顔で見守ってください。君の笑顔は、いつまでも奥様の心の中で生き続けるでしょう。心より、ご冥福をお祈りします。

To live in hearts we leave behind,

Is not to die. (「Hallowed Ground」 Thomas Campbell)

感謝とご報告

平成四年卒 福井 雅士

長崎大学医学部漕艇部OB会の諸先生方におかれましては、いつも大変お世話になりましたありがとうございます。特に、直接お世話になった先輩の先生方、長崎近辺の先生方には現在も毎回のよう御厄介をおかけし、またご支援いただいておりますことを心から感謝いたしております。本当に僣越なご報告をしないといけないことを何卒お許し下さい。

この度、二〇〇九年十二月十九日、ベトナム社会主義共和国政府から児童保護育成勲章をいただきましたことを、謹んでご報告申し上げます。これもひとえに諸先生方のご理解とご支援の賜物であり、極論すれば、私自身というよりOBも含む長崎大学医学部漕艇部の存在自体が、受賞されたものと考えております。私自身には非常に身に余る光栄で、諸先生方を差し置いて大変恐縮しているところです。

私が活動しております地域は、南ベトナムのホーチミン市から南へ約一二〇kmのベンチエ省ベンチエ市で、最初の訪問は一九九七年十二月のことでした。

ベンチエ省はベトナム戦争の激戦地の一つで、米軍の枯

葉剤作戦が四回も五回も何度も行われた所です。その中核病院であるグエンディンチュウ病院（約六〇〇床）で、主に口唇口蓋裂の手術診療（私の主任務は麻酔、副次的に執刀）を行ってきました。四〇代、五〇代の未治療の患者さんや見たこともないような顔面の重篤な奇形に遭遇し、日本しか知らない私にとつては、大きな衝撃を感じたことを憶えています。初期のミッションは、診療隊約四〇名で約二〜三週間に手術症例数約一二〇例を目標に行われ、当時から私の主任務は麻酔リカバリー担当（副次的任務として執刀）です。その後約一〇日間六〇例が目標の日程となりました。以来約十三年間断続的に、非力な私に何ができるのかと半分後ろめたい気持ちでこのベンチエのミッションに参加して参りました。詳しくは麻酔科系の文献として報告しておりますので、関心のあられる先生方におかれましてはご参照いただけましたら幸いです。

「ベトナムにおける当科の医療協力活動」

福井雅士、三溝慎次、中平圭、中島幹夫、十時忠秀
臨床麻酔 29/No.10, 1677-1679, 1100五年十月号

数年前のスマトラ沖地震災害やハイチ大地震、ペルー大地震、中国の四川大地震や青海省大地震などで活動されている山本先生、松尾君をはじめとする諸先生方、また長年に渡りバングラデシュで無償の眼科診療を続けておられる

倉富先生達のご苦勞を考えれば、私のような者がこのような栄えある賞をいただくことに本当に心苦しきを感じる。同時に、またそのご苦勞に対して心からの感謝も湧いてまいります。

また、当初より私のベトナム行きにご理解とご助言をいただいた故村上先生をはじめ漕艇部長の丹羽先生には、今も変わらぬそのご厚情に対して心から感謝申し上げます。更に振り返れば、十数年前に当時窮地にいた私を形成外科に引き入れ今の境遇に導いてくれた中野君にも深く感謝しないといけないと思っております。

最後に、ある意味私の我儘とも言えるこの活動に対して、一貫して変わらぬご理解とご協力を頂いている井上病院の井上健一郎院長先生に対しても、本当に心から深く深く感謝申し上げる次第です。

今後ともOB会の先生方におかれましては、井上病院の福井に対して、変わらぬご厚情、御指導御鞭撻いただきませう、くれぐれもお願ひ申し上げます。本当にありがとうございます。

《活動報告》

◆昨年度主将挨拶◆

四年 水野 貴基

昨シーズン主将を務めさせていただきました水野貴基と申します。まず初めに、今シーズンも数多くの御支援御声援をいただきました多くのOBの先輩方に御礼申し上げます。と思います。シーズンを通して思うような結果がなかなか出せず、序盤は良い結果報告が出来なかったのですが、最終的に夏の西医体で総合・対校部門で優勝することができ、インカレでも昨年度以上のレースができました。この経験は必ず現役部員の力になり、これからさらに部が飛躍していく足場になることを確信しております。

さて、昨シーズンは次のようなことを新しく意識して取り組みました。

- ①出場大会数を増やし、多くの経験を積む。
 - ②シーズン開始時期を前倒して年始からにする。
 - ③よりシーズンを見据えたトレーニングをオフから行う。
- ①についてですが、昨シーズンは前年までは参加をしていなかった十一月の九州学生レガッタ（九州インカレ）、五月の関西朝日レガッタ、七月の関西選手権大会に

新たに参加させていただきました。これまでは五月の九州朝日レガッタが終わると八月の西医体まで他の大学と並べることがなかったため、どうしても練習の成果が西医体・インカレを前に見えなくなっていました。そこでシーズンの山場に一月に一度のペースでレースを行い、よりレース感覚を夏の大会に向上させていこうと考えました。結果が伴わず苦しいこともありましたが、結果的にレースで見えない自分たちの弱さなどを改善できる機会を増やすことができ、高い気持ちを保てたように思います。

また②、③についてですが、例年以上にオフシーズンとシーズンの繋がりを考えました。オフシーズンはシーズン中になかなか行うことのできない筋トレやエルゴ、ランを重点的に行い、一月に一度部内エルゴ大会を行って個人のデータ管理を行いました。これによりシーズンを通してトレーニング結果を数値化でき、部内での競争を作ることができたかと思えます。またシーズン開始を年始に前倒しにすることにより、シーズン中の乗艇回数を増やすこともできました。

一方でシーズンを通して考えた反省点を挙げたいと思います。

まず何よりも夏に至るまでの多くの大会で結果が出せませんでした。この要因として、オフが始まった時点で前年の一般艇経験者が非常に少なかったことが挙げられるかと思えます。昨シーズンはA Bクルーの実力が拮抗してい

たことから、特に一般クルーのメンバーはA Bクルーを問わず、常に大会で優勝目指して実力を伸ばし、部内でシート競争が行える状況を作ることが必要と感ずます。またCOXについては次のシーズンを見据えて経験を積める環境を作ることも必要なのではないかと感ずました。

次シーズンはこれらの反省を活かし、さらなる部の躍進を期待しております。まとまりのない文章ですが以上挨拶とさせていただきますと思ひます。

◆新主将挨拶◆

三年 大井隆之介

二〇一〇年九月より長崎大学医学部漕艇部主将を務めさせていたたくことになりました、大井隆之介と申します。昨シーズンは西医体で対抗クルーの優勝、そして総合優勝をOBの先輩方にご報告することができ、大変光榮に思っております。これも、現役部員・多くのOBの先輩方全員で勝ち取れた勝利だと思っております。この場を借りてお礼申し上げますと思ひます。本当にありがとうございます。でも優勝を目指し、さらに強い長崎大学医学部漕艇部を部員全員で築き上げていきたいと思っております。

このような目標を達成していくために、これまでの練習をもう一度見直してさらに改善していくことにしました。まずは、これまでの十月からのオフシーズンという概念をなくし、シーズンと同様基本は週十一モーションの練習量を全員がこなしていくことにしました。この時期からしっかりとハードなトレーニングを積むことで、基礎体力と技術の向上を目指していきたいと思っております。また、例年は多くても月一回ほどこしか行われなかったエルゴ大会を、毎週午後の時間帯に二〇〇mトライアルと二〇分トライアル(レート二八以上指定)を行うことで常に競争意識を持つように工夫し、夏につながるような練習を取り組んでいきたいと思っております。

次に、クルー変更をこの時期から積極的に取り入れていくと思っております。基本的には先ほど述べた毎週のエルゴタイムとモーターボートから澁谷コーチに客観的に見ていただいた上で、調子の良いメンバーを随時対抗クルーに移行するようにしています。毎週のようにクルーが変更することにストレスを感じることもあるだろうとは思いますが、いろんなメンバーと毎週一緒に漕ぐことで様々な刺激を得ることができ、また急な怪我などにも対応できるような柔軟性を部員全員が持つことができるように、この時期からのクルー変更を積極的に取り組んでいきたいと思っております。

そして、今年は一人でも多くの部員が積極的に試合に参

加できるようにしていきたいと思っっています。昨シーズンはたくさんのOBの先輩方からのご支援のもと、秋季九州学生レガッタや関西朝日レガッタ・関西選手権など今まで経験したことのない大会に参加させていただき、数多くの刺激を得ることができました。しかし、これらの大会には対抗クルーしか参加することができませんでした。これから部全体のレベルを底上げしていくためにも、多くの部員が新しい大会に参加する必要があると感じました。その第一歩として、昨年一クルーしか参加することができなかった秋季九州学生レガッタに今年は二クルーが出場できるようにし、一人でも多くの部員が新しい経験と刺激を得ることができるようになり組んでいきたいと思っっています。

新しいチームになってまだ間もないですが、西医体・インカレに向けて部員全員で勝利を手にすることができるよう、これからも一生懸命努力していきたいと思っっていますので、引き続き変わらぬご支援・ご協力のほどよろしくお願ひします。最後になりますが、OB皆様方のご健康とご多幸をお祈りして新主将挨拶とさせていただきます。

◇新入生紹介◇

有賀 健治

モヒカンの似合うさわやかな好青年!

晩ご飯なにが食べたいと聞くと遠慮せずに焼き肉が食べたいです。と言っつて先輩を困らせたりすることもありますが、朝練などで頑張っつている姿を見ると思わず奢っつてしまう。また、腹筋三セットのところを今日は二セットでいいだろうという甘い先輩達の誘惑にも負けず「いや、三セットやりましょう」と言うあたりからこれからのボート部を支えてくれそうな頼もしさを感じる。

日常では女の子を交えた鍋パーティーをしたりと中々ア充な一面も兼ね備えている。

最近では彼のおすすめの洋曲 SEX ON THE BEACH (彼曰わく今クラブで流行りらしい) がボート部でアツイ! これからも彼はボート部のブームを作っつていくだろう。

(文責 竹田)

池田 英士

一番最初にボート部に何故か入部してしまった男。その後是一年生ながら一年生の勧誘に精力的に取り組むとゆう

なんとも頼もしい池田英士。

身長でかいわ、体重重いわで羨ましい限り。腕相撲まあまあ強いしね。部活に勉強に恋愛にと学生生活を楽しんでるようです。(勉強はもう少しがんばれ笑)

エルゴもハンパない次世代のボート部を担う男です。

(文責 朝野)

川口 雄史

部内随一のテクニシャン、川口雄史。一年生にして既に乗艇技術は部内一という凄まじいセンスの持ち主。高校を首席(のチャラさ)で卒業しただけのこととあり、乗りこなすのが上手いのはボートだけではないらしい。(笑)

(文責 粕谷)

佐藤 晋平

あらゆる楽器を弾きこなし、歌えばCHEMISTRYの堂珍ぐらいうまく、そしてカクテルなどのお酒に詳しく、運動嫌いというボート部には不似合いすぎるほどオシャレなさとさん。

しかし、ボートに対する思いは誰よりも熱く、時には吠えることもある。技術的にはすでに部活内一のレンジの長さを誇るのだ。この先ボートも含め将来楽しみな奴だぜ。

二宮 直樹

(文責 菊田)

長崎県の名門、青雲高校出身。実家が旧医科大大門前という最高の立地条件にあり、長崎大学医学部に入るために生まれてきたような男。でも、家が近い割に遅刻が多いけど：まあそこは追々直していくでしょう。

シーズン中は、某部員に「虫けら(幼虫)」とか言われちゃったけど、シーズン終わったら「さなぎ」にはなれたらしい。早く「成虫」になるために、ボートの練習頑張っている二宮！試験勉強も忘れるな！

(文責 田尻)

福田 龍一

最初はまともかと思われた彼も、日が経つにつれだんだんと個性的なキャラになってきたと思います。ここでは項目ごとに、彼の個性的っぷりをちよつと紹介しようと思います。

●室内楽

ボート部のハードな練習をちゃんとこなしつつも、室内楽とも兼部しています。話では、毎回休まずに、練習に参加しているらしいです。モーツァルトやベートーベンの曲なんかを嗜んでるんでしょうか。私は音楽が全く分からない

いので感心しちゃいますね。

●iPod

彼はいつでもどこでもiPodをしています。もうほんと、「またかー」ってくらいです。一体どんな曲を聴いているのかと思って、彼のiPodをいじって出てきたのは……『女の子パズル』!!どんな萌え萌えな曲なんでしょうね。私は聴いたことがないので、どんな曲か想像するだけでムラムラしちゃいますね。

●田尻会

一年生の間では、四月から定期的にとっても不思議な集会が開かれています。その名も……『田尻会』!!どんな集会なのかというと、優しい田尻先輩の奨学金で焼き肉を食べに行く、というとても魅力的な集会です。そんな誰もが行けるもんなら行きたい、と思うような集会に、なぜか彼は行きたがりません。彼いわく、田尻会には入会していないんだとか……。私は是非是非田尻先輩に牛花に連れてって欲しいワン!!ワンワン!!

●セルバイ

なんでも入学して一番最初のセルバイの中間テストでシヨッキンゲンなテストをとってしまつたらしく、それ以来彼はとても勉強熱心になりました。自分で、萌え萌えな絵をいれて分かりやすい資料を作成し、他のポート部員を助けています。ほんとに優しいですね。私も彼くらい真面目に勉強したいですね。

●ビックル

よくビックルを飲んでいきます。そのため彼はお腹の中に乳酸菌がめっちゃくちゃいっぱいいるという噂です。ちなみに彼にヤクルトを十二本くらい一気に飲ませたら何かが起きるらしいです。私はそのうちやってみようとコソコソ計画を立てています。

●ポケモン

ポケモンが大好きみたいです。白と黒、両方買ったみたいです。「孵化はもうゲームじゃなく、作業ですよお」そう言ってるのをよく耳にします。ポケモンってなんだか奥が深そうですね。私も黒を買ったんですけど、途中で飽きちゃいました。やつぱり、みんなのアイドル、ピカチュウが頻繁に出てこないとやる気が出ませんね。ピカピカ、ピカピカ、ピカチュウ!!ピカピカ、ピカピカ!!私の頭はまだふっさふさですけど、頭はピカピカ!!だらけです。まだまだ書きたいことがいっぱいあるけど、こんくらいで止めときます。

福田君がこのままエルゴタイムを伸ばし、新エースとなることを期待しています。一緒に頑張ろうな!!

(文責 鴨打)

〇八↓〇九年度試合結果報告

●二〇〇九年 丸山

一般男子オープン 予選A組

- | | | |
|---|------------|----|
| 3 | 佐賀大学 (葉隠) | 一位 |
| 4 | 熊本大学 (秀魔破) | 二位 |
| 2 | 長崎大学 (蓋世) | 三位 |
| 5 | 久留米大学 (筑水) | 四位 |
| 6 | 福岡大学 (玄海) | 五位 |

一般男子オープン 予選B組

- | | | |
|---|------------|----|
| 5 | 佐賀大学 (浮立) | 一位 |
| 3 | 宮崎大学 (不死鳥) | 二位 |
| 2 | 熊本大学 (白虎) | 三位 |
| 4 | 長崎大学 (普賢) | 四位 |

一般男子オープン 敗者復活戦

- | | | |
|---|------------|----|
| 3 | 長崎大学 (蓋世) | 一位 |
| 4 | 熊本大学 (白虎) | 二位 |
| 6 | 長崎大学 (普賢) | 三位 |
| 5 | 久留米大学 (筑水) | 四位 |
| 2 | 福岡大学 (玄海) | 五位 |

一般男子オープン 決勝

- | | | |
|---|------------|----|
| 2 | 佐賀大学 (浮立) | 一位 |
| 1 | 熊本大学 (秀魔破) | 二位 |
| 3 | 熊本大学 (白虎) | 三位 |
| 6 | 佐賀大学 (葉隠) | 四位 |
| 5 | 宮崎大学 (不死鳥) | 五位 |
| 4 | 長崎大学 (蓋世) | 六位 |

対校男子4+ 予選

- | | | |
|---|------------|----|
| 2 | 長崎大学 (鳳翼) | 一位 |
| 4 | 宮崎大学 (日向Ⅲ) | 二位 |
| 3 | 福岡大学 (早良) | 三位 |

対校男子4+ 決勝

- | | | |
|---|-------------|----|
| 3 | 佐賀大学 (雷光) | 一位 |
| 6 | 熊本大学 (龍神) | 二位 |
| 4 | 長崎大学 (鳳翼) | 三位 |
| 5 | 宮崎大学 (日向Ⅲ) | 四位 |
| 2 | 産業医科大学 (煌牙) | 五位 |

一般男子4+ 予選A組

| | | | |
|---|-----------------|---------|----|
| 4 | 筑紫RC・アイランド艇庫漕友会 | 三分二四秒七七 | 一位 |
| 2 | 熊本大学 (ユウスゲ) | 三分三〇秒七三 | 二位 |
| 6 | 長崎大学 (鵬翼) | 三分三六秒七〇 | 三位 |
| 3 | 山口大学 (羅漢) | 三分三七秒二五 | 四位 |
| 5 | 佐賀大学 (雷光) | 四分五一秒五〇 | 五位 |

一般男子4+ 予選B組

| | | | |
|---|-------------|---------|----|
| 3 | 熊本大学 (MARS) | 三分三〇秒〇八 | 一位 |
| 5 | 熊本大学 (龍神) | 三分三一秒一六 | 二位 |
| 2 | 山口大学 (鳴鳳) | 三分三三秒二五 | 三位 |
| 4 | 熊本学園大学 | 三分三八秒五三 | 四位 |
| 6 | 久留米大学 (篠山) | × | × |

一般男子4+ 予選C組

| | | | |
|---|-------------|---------|----|
| 5 | 山口大学 (維新) | 三分三三秒六六 | 一位 |
| 4 | 熊本大学 (白虎) | 三分四六秒〇五 | 二位 |
| 3 | 長崎大学 (蓋世) | 三分四八秒一五 | 三位 |
| 6 | 九州工業大学 (明専) | 三分五二秒五三 | 四位 |

一般男子4+ 敗者復活戦A組

| | | | |
|---|-----------|---------|----|
| 6 | 熊本学園大学 | 三分四二秒〇四 | 一位 |
| 4 | 長崎大学 (鵬翼) | 三分四三秒五九 | 二位 |
| 5 | 長崎大学 (蓋世) | 四分〇〇秒一九 | 三位 |

一般男子4+ 準決勝B組

| | | | |
|---|-------------|---------|----|
| 5 | 熊本大学 (ユウスゲ) | 三分四〇秒三八 | 一位 |
| 4 | 熊本大学 (MARS) | 三分四三秒一六 | 二位 |
| 6 | 山口大学 (鳴鳳) | 三分五〇秒〇三 | 三位 |
| 2 | 長崎大学 (鵬翼) | 三分五四秒六四 | 四位 |
| 3 | 熊本大学 (白虎) | 四分一九秒二四 | 五位 |

ナックルフォア 予選B組

| | | | |
|---|------------|---------|----|
| 3 | 松山大学B | 一分三九秒八三 | 一位 |
| 1 | 熊本大学 (呑龍) | 二分三八秒八四 | 二位 |
| 2 | 佐賀大学 (葉隠) | 二分四七秒五九 | 三位 |
| 6 | 佐賀大学 (Ark) | 二分五二秒〇四 | 四位 |
| 4 | 福岡教育大学 | 除外 | |
| 5 | 長崎大学 (普賢) | 除外 | |

ナックルフォア 予選D組

| | | | |
|---|---------------|---------|----|
| 1 | 唐津市役所 | 二分二一秒〇七 | 一位 |
| 4 | 佐賀大学 (Amite) | 二分三二秒三五 | 二位 |
| 6 | 長崎大学 (崎陽) | 二分四〇秒四二 | 三位 |
| 2 | 佐賀大学 (遥) | 二分四一秒〇四 | 四位 |
| 5 | 熊本大学 (オツボネーゼ) | 二分四六秒五二 | 五位 |
| 3 | 久留米大学 (筑水) | × | × |

ナックルフォア (6↓3) 敗者復活戦B組

| | | |
|---------------|---------|----|
| 長崎大学 (普賢) | 二分二四秒九五 | 一位 |
| 熊本大学 (オツボネーゼ) | 二分二六秒二九 | 二位 |
| 佐賀医 (蒼龍) | 二分二八秒八四 | 三位 |
| 佐賀大学 (Metor) | 二分三五秒六三 | 四位 |

ナックルフォア (6↓2) 準決勝B組

| | | |
|-----------|---------|----|
| 松山大B | 一分五六秒二一 | 一位 |
| 新菱 | 二分〇四秒一〇 | 二位 |
| 長崎大学 (普賢) | 二分〇五秒四五 | 三位 |
| 産業医科大 | 二分一四秒八四 | 四位 |
| 長崎大学 (崎陽) | 二分三一秒〇〇 | 五位 |
| 産業医科大 | 三分〇二秒一一 | 六位 |

●二〇〇九年 県漕

| | | | |
|--------|-----------|---------|----|
| 一般男子4+ | 予選A | | |
| 3 | 長崎大学 (鵬翼) | 四分一八秒一七 | 一位 |
| 2 | 長崎大学 (崎陽) | 四分五七秒七九 | 二位 |
| 4 | 長崎大学 (普賢) | 五分〇七秒四一 | 三位 |

| | | | |
|--------|-----------|---------|----|
| 一般男子4+ | 予選B | | |
| 2 | Rowkies | 四分〇九秒三八 | 一位 |
| 3 | 長崎大学 (蓋世) | 四分三五秒一四 | 二位 |

| | | | |
|--------|-----------|---------|----|
| 一般男子4+ | 決勝戦 | | |
| 3 | Rowkies | 三分五三秒二四 | 一位 |
| 2 | 長崎大学 (鵬翼) | 四分〇三秒四三 | 二位 |
| 4 | 長崎大学 (蓋世) | 四分一五秒〇七 | 三位 |
| 1 | 長崎大学 (崎陽) | 四分四八秒四九 | 四位 |

一般手付きフォア

レースNo.3 予選A (5↓2)

暁 (滋賀)

三分一九秒〇二 一位

鵬翼 (長崎)

三分二三秒〇〇 二位

瀛 (浜松)

三分三二秒七六 三位

ASTRIA (大阪)

三分四八秒八四 四位

早良 (福岡)

四分〇三秒六五 五位

レースNo.4 予選B (5↓2)

湍 (浜松)

三分二五秒七〇 一位

TRISTAN (大阪)

三分二九秒四二 二位

白虎 (熊本)

三分三〇秒八六 三位

蓋世 (長崎)

三分三八秒三四 四位

青州 (和歌山)

三分四四秒七五 五位

レースNo.20 敗者復活戦B組 (6↓2)

SENIOR (浜松)

三分二九秒二四 一位

瀛 (浜松)

三分三〇秒三八 二位

白虎 (熊本)

三分三〇秒七五 三位

蓋世 (長崎)

三分三七秒二七 四位

英駿 (産業)

三分三八秒九六 五位

篠山 (久留米)

三分五四秒四七 六位

レースNo.28 敗者復活戦A組 (6↓3)

IXION (大阪)

三分一八秒九五 一位

芝蘭 (京都)

三分一九秒四四 二位

雷光 (佐賀)

三分二〇秒五〇 三位

鵬翼 (長崎)

三分二一秒二二 四位

龍神 (熊本)

三分二二秒一五 五位

瀛 (浜松)

三分三五秒〇〇 六位

レースNo.37 順位決定戦

鵬翼 (長崎)

三分二〇秒六七 一位

龍神 (熊本)

三分二二秒六八 二位

天風 (岡山)

三分二七秒六二 三位

SENIOR (浜松)

三分二九秒〇二 四位

天照II (宮崎)

三分三三秒九五 五位

瀛 (浜松)

三分三四秒二九 六位

新人舵手付きフォア

レースNo.7 予選A組 (6↓3)

紅駿 (京都)

三分三九秒九八 一位

葉隠 (佐賀)

三分四六秒八五 二位

普賢 (長崎)

三分五七秒六八 三位

SPIRITS (鳥取)

四分〇九秒〇三 四位

MOTE-BOY (大阪)

四分一二秒一〇 五位

CR舟物語 (金沢)

四分一二秒三四 六位

レースNo.8 予選B組 (6↓3)

| | | |
|------------------|---------|----|
| 崎陽 (長崎) | 三分四二秒八六 | 一位 |
| 滋賀医科大学 (滋賀) | 三分四九秒二五 | 二位 |
| こちやる丸 (熊本) | 三分五〇秒八二 | 三位 |
| コグンジャー (金沢) | 三分五九秒〇二 | 四位 |
| 筑水 (久留米) | 四分一四秒五九 | 五位 |
| MOTE-Prince (大阪) | 四分二二秒二七 | 六位 |

レースNo.36 順位決定戦

| | | |
|---------------|---------|----|
| 普賢 (長崎) | 三分四四秒三九 | 一位 |
| コグンジャー (金沢) | 三分四五秒五七 | 二位 |
| 神威 (熊本) | 三分四六秒四七 | 三位 |
| CR舟物語 (金沢) | 三分四八秒六一 | 四位 |
| MOTE-GOD (大阪) | 三分五〇秒五〇 | 五位 |
| 雷電 (金沢) | 四分〇八秒二六 | 六位 |

レースNo.30 準決勝A組 (6↓3)

| | | |
|-------------|---------|----|
| 紅駿 (京都) | 三分三五秒一四 | 一位 |
| 葉隠 (佐賀) | 三分三九秒四七 | 二位 |
| 滋賀医科大学 (滋賀) | | 三位 |
| 普賢 (長崎) | 三分四七秒六一 | 四位 |
| コグンジャー (金沢) | 三分四八秒四四 | 五位 |
| CR舟物語 (金沢) | 三分五五秒二三 | 六位 |

レースNo.40 決勝戦

| | | |
|-------------|---------|----|
| 崎陽 (長崎) | 三分三〇秒六四 | 一位 |
| 紅駿 (京都) | 三分三二秒三八 | 二位 |
| 蒼龍 (佐賀) | 三分三三秒一四 | 三位 |
| 葉隠 (佐賀) | 三分三三秒七二 | 四位 |
| こちやる丸 (熊本) | 三分三五秒八九 | 五位 |
| 滋賀医科大学 (滋賀) | 三分四〇秒八四 | 六位 |

レースNo.31 準決勝B組 (6↓3)

| | | |
|---------------|---------|----|
| 崎陽 (長崎) | 三分三七秒三一 | 一位 |
| 蒼龍 (佐賀) | 三分四一秒九七 | 二位 |
| こちやる丸 (熊本) | 三分四五秒八七 | 三位 |
| 神威 (熊本) | 三分五三秒九三 | 四位 |
| MOTE-GOD (大阪) | 三分五六秒五〇 | 五位 |
| 雷電 (金沢) | 四分一秒八五 | 六位 |

2009年 インカレ

Race No:54 発艇時刻:08/20 15:22 組別:予選H組

レクルー 500m 1000m 1500m 2000m Rank Qualify

| | | | | | | |
|---|---------|----------|----------|----------|----------|---------------|
| 1 | 中央大学 | 01:49.44 | 03:43.20 | 05:40.37 | 07:34.01 | 3着 |
| 2 | 防衛大学校 | 01:55.59 | 03:53.91 | 05:53.37 | 07:55.48 | 5着 |
| 3 | 長崎大学医学部 | 01:54.84 | 03:51.98 | 05:49.74 | 07:45.06 | 4着 |
| 4 | 法政大学 | 01:47.94 | 03:36.34 | 05:25.36 | 07:12.59 | 1着→Semi-Final |
| 5 | 岡山大学 | 01:46.20 | 03:37.31 | 05:28.39 | 07:14.22 | 2着 |

Race No:106 発艇時刻:08/21 13:58 組別:敗復A組

| | | | |
|---|---------|----------|---------------|
| 2 | 長崎大学医学部 | 07:18.75 | 4着 |
| 3 | 大阪大学 | 07:05.40 | 2着 |
| 4 | 京都大学 | 07:02.54 | 1着→Semi-Final |
| 5 | 山梨大学医学部 | 07:11.82 | 3着 |

2009年 新潟国体

1日目 (予選)

| 順位 | 地域 | クルー名 | 500m | 1000m |
|----|-----|---------|----------|----------|
| 1 | 滋賀県 | 東レ滋賀 | 01:31:56 | 03:04:77 |
| 2 | 富山県 | 富山国際大学 | 01:31:97 | 03:05:48 |
| 3 | 北海道 | オムニ歯科AC | 01:33:71 | 03:06:63 |
| 4 | 愛媛県 | 愛媛選抜 | 01:33:09 | 03:09:82 |
| 5 | 長崎県 | 長崎大学医学部 | 01:37:05 | 03:21:56 |

2日目 (敗復)

| 順位 | 地域 | クルー名 | 500m | 1000m |
|----|-----|---------|----------|----------|
| 1 | 愛媛県 | 愛媛選抜 | 01:36:16 | 03:13:85 |
| 2 | 福島県 | 會津磴漕会 | 01:36:81 | 03:14:94 |
| 3 | 福岡県 | 福岡県選抜 | 01:41:23 | 03:24:17 |
| 4 | 長崎県 | 長崎大学医学部 | 01:39:82 | 03:26:65 |

〇九↓一〇年度試合結果報告

●二〇〇九年秋 九州学生レガッタ

5M4+

熊本学園大学

MARS (熊本)

鹿児島大学ボート部

五分二七秒

五分三九秒

六分〇九秒

一位

二位

三位

6M4+

崎陽 (長崎)

脱兎 (熊本)

明専 (九州工業大学)

五分三六秒

五分四〇秒

五分四五秒

一位

二位

三位

●九山

レースNo.3 男子4+一般 決勝

1 熊本 熊本リハビリテーション学院

2 佐賀 葉隠

3 佐賀 浮立

5 熊本 白虎

7 長崎 蓋世

4 宮崎 不死鳥

6 福岡 玄海

四分一三秒三三

一三分五四秒七五

二三分五八秒〇八

三三分五九秒五三

五四分一三秒六九

六四分一八秒六六

七五分四七秒五五

一位

二位

三位

四位

五位

六位

七位

レースNo.4 男子2×女子2× 決勝

2 佐賀 天吼

4 佐賀 (女子) 天花

5 熊本 飛燕

3 長崎 南風

一四分三〇秒六二

一五分〇三秒九三

二四分三〇秒六二

三四分五二秒三六

一位

二位

三位

四位

レースNo.5 男子1× 決勝

2 熊本 北村

4 長崎 竹田

3 長崎 朝野

一五分一七秒八六

二五分四七秒二二

三六分一秒八二

一位

二位

三位

レースNo.7 男子4+対校 決勝

4 佐賀大学 (雷光)

3 熊本大学 (龍神)

5 宮崎大学 (日向Ⅲ)

2 産業医科大学 (英駿)

1 長崎大学 (鵬翼)

6 福岡大学 (早良)

一四分二四秒六七

二四分三五秒九九

三四分四一秒七五

四四分四七秒一二

五四分五二秒二四

六五分三八秒〇九

一位

二位

三位

四位

五位

六位

●関西朝日レガッタ

レースNo.59 男子舵手付きフォア予選

| | | | |
|---|----------------|---------|----|
| 6 | 立命館大学 (β) | 三分三九秒一七 | 一位 |
| 3 | 神戸大学 | 三分四〇秒九三 | 二位 |
| 4 | 京都大学医学部 (芝蘭) | 三分四一秒五三 | 三位 |
| 2 | 長崎大学 (鵬翼) | 三分五八秒〇八 | 四位 |
| 5 | 大阪大学 (TRISTAN) | 四分四一秒九九 | 五位 |

レースNo.123 男子舵手付きフォア敗者復活戦第二組

| | | | |
|---|------------|---------|----|
| 3 | 大阪市立大学 | 三分四〇秒六四 | 一位 |
| 4 | 広島大学 B | 三分四一秒〇九 | 二位 |
| 2 | 長崎大学 (鵬翼) | 三分四四秒〇二 | 三位 |
| 5 | 浜松医科大学 (湍) | 三分四六秒一八 | 四位 |
| 6 | 熊本大学 (龍神) | 三分五一秒〇一 | 五位 |

レースNo.198 男子舵手付きフォア準決勝六組

| | | | |
|---|-----------|---------|----|
| 3 | 今治造船 | 三分三五秒六三 | 一位 |
| 5 | 立命館大学 (β) | 三分四〇秒六五 | 二位 |
| 2 | 神戸大学 | 三分四三秒六四 | 三位 |
| 4 | 島根大学 B | 三分四六秒七二 | 四位 |
| 6 | 長崎大学 (鵬翼) | 三分五〇秒四三 | 五位 |
| 1 | 山口大学 A | 三分五三秒一〇 | 六位 |

●九州朝日レガッタ

男子4+ 予選A組

| | | |
|-------------|---------|----|
| 山口大学 | 四分〇三秒四三 | 一位 |
| 産業医科大学 (煌牙) | 四分〇五秒五五 | 二位 |
| 長崎大学 (蓋世) | 四分一五秒六八 | 三位 |
| 熊本大学 (龍神) | 棄権 | |

男子4+ 予選B組

| | | |
|-------------|---------|----|
| 佐賀大学 (雷光) | 三分五二秒一七 | 一位 |
| 熊本大学 (阿修羅) | 三分五四秒一二 | 二位 |
| 宮崎大学 (日向) | 三分五七秒六五 | 三位 |
| 九州工業大学 (明専) | 三分五八秒二八 | 四位 |
| 長崎大学 (鵬翼) | 四分一〇秒八八 | 五位 |

男子シングルスカル 予選D組

| | | |
|-------------------|---------|----|
| 山本 拓朗 (九州大学) | 四分〇二秒四六 | 一位 |
| 寺地 和雄 (山口大学) | 四分〇五秒七二 | 二位 |
| 武藤 充孝 (西南学院大学・麒麟) | 四分一〇秒四〇 | 三位 |
| 深堀 研二 (新日鐵八幡) | 四分一三秒九五 | 四位 |
| 朝野 宏視 (長崎大学) | 四分一八秒六八 | 五位 |

ナックルフォア 予選B組

| | | |
|---------------|---------|----|
| 長崎大学(普賢) | 二分一五秒六九 | 一位 |
| 産業医科大学(英駿) | 二分三三秒〇三 | 二位 |
| 佐賀大学(カフェインズ) | 二分三五秒一三 | 三位 |
| 久留米大学B | 二分四六秒二四 | 四位 |
| 佐賀大学(ゴギマンジャロ) | 二分五一秒三三 | 五位 |

ナックルフォア 準決勝D組

| | | |
|---------------|-----------|----|
| 熊本大学(白虎) | 二分〇九秒七七 | 一位 |
| 新菱A | 二分一〇秒八一 | 二位 |
| 佐賀大学(Meteor☆) | 二分一五秒一一 | 三位 |
| 産業医科大学(英駿) | 二分三一秒三三 | 四位 |
| 長崎大学(普賢) | 失格(レーン侵害) | |

ナックルフォア 予選F組

| | | |
|---------------|---------|----|
| 新日鐵八幡 | 二分四二秒九三 | 一位 |
| 長崎大学(崎陽) | 三分〇七秒二二 | 二位 |
| 久留米大学A | 三分〇九秒三八 | 三位 |
| 宮崎大学(不死鳥) | 三分一九秒三〇 | 四位 |
| 佐賀大学(蒼龍) | 三分三三秒一七 | 五位 |
| 佐賀大学(Meteor☆) | 三分四六秒二九 | 六位 |

● 県漕

レースNo.21 成年男子1× 予選B

| | | |
|----------------------------|---------|----|
| 4 一箭・フェルナンド・ヒロシ(Reham (マ)) | 四分一八秒五二 | 一位 |
| 1 木村 伸介(大村城南高校教) | 四分一九秒六二 | 二位 |
| 3 石平 正巳(園漕会) | 四分三四秒二六 | 三位 |
| 2 朝野 寛視(長崎大学) | 四分五六秒〇八 | 四位 |

ナックルフォア 準決勝B組

| | | |
|------------|---------|----|
| 新日鐵八幡 | 二分一五秒八九 | 一位 |
| 久留米大学(篠山) | 二分一五秒八九 | 二位 |
| 長崎大学(崎陽) | 二分二四秒七九 | 三位 |
| 宮崎大学(不死鳥) | 二分二九秒二四 | 四位 |
| 産業医科大学(風飛) | 二分五〇秒八七 | 五位 |

レースNo.22 成年男子フォア 予選A組

| | | |
|------------|---------|----|
| 3 長崎大学(鵬翼) | 四分〇五秒三六 | 一位 |
| 2 長崎大学(普賢) | 四分三四秒三六 | 二位 |

レースNo.23 成年男子フォア 予選B組

| | | |
|------------|---------|----|
| 3 ROW馬伝 | 三分五八秒一四 | 一位 |
| 2 長崎大学(蓋世) | 四分〇二秒六七 | 二位 |
| 4 長崎大学(崎陽) | 四分三三秒八九 | 三位 |

レースNo.31 成年男子フォア 決勝

| | | | |
|---|----------|---------|----|
| 3 | ROW馬伝 | 三分五秒八一 | 一位 |
| 2 | 長崎大学(蓋世) | 四分〇八秒一六 | 二位 |
| 4 | 長崎大学(鵬翼) | 四分〇八秒五一 | 三位 |
| 1 | 長崎大学(崎陽) | 四分三六秒五〇 | 四位 |

●関西選手権

レースNo.31 (5↓2)

| | | | |
|--------|---------|---------|----|
| 京都大学 | 七分〇〇秒一八 | 三分二六秒二三 | 一位 |
| 関西大学 | 七分一二秒〇二 | 三分三五秒三二 | 二位 |
| 松山大学 | 七分一三秒三九 | 三分三四秒七八 | 三位 |
| 大阪工業大学 | 七分三一秒七四 | 三分四〇秒五四 | 四位 |
| 長大医・鵬翼 | 七分三五秒六三 | 三分四七秒四七 | 五位 |

レースNo.32 (5↓2)

| | | | |
|---------|---------|---------|----|
| 立命館大学B | 七分〇〇秒六四 | 三分二七秒三二 | 一位 |
| 大阪市立大学 | 七分〇七秒〇四 | 三分三一秒四七 | 二位 |
| 浜寺RC | 七分〇七秒一四 | 三分三二秒八九 | 三位 |
| 京都大学・水明 | 七分一九秒四三 | 三分三六秒六五 | 四位 |
| 長大医・蓋世 | 七分四五秒三四 | 三分四九秒七三 | 五位 |

敗者復活戦二組 (6↓2)

| | | | |
|--------|---------|---------|----|
| 神戸大学 | 七分二八秒一四 | 三分三九秒二三 | 一位 |
| 松山大学 | 七分四〇秒〇七 | 三分四五秒〇一 | 二位 |
| 長大医・鵬翼 | 七分四八秒二八 | 三分五〇秒〇五 | 三位 |
| 大阪工業大学 | 七分五〇秒七七 | 三分五一秒五七 | 四位 |
| 甲南大学 | 七分五二秒九三 | 三分五二秒三二 | 五位 |
| 長大医・蓋世 | 八分一二秒五三 | 三分五八秒八七 | 六位 |

●西医体

男子シングルスカル予選A組 (5↓2)

| | | |
|----------|---------|----|
| 滋賀B(滋賀) | 三分四六秒三九 | 一位 |
| 滋賀A(滋賀) | 三分四八秒一四 | 二位 |
| 流星(熊本) | 四分〇二秒七〇 | 三位 |
| 北村文優(熊本) | 四分〇五秒〇〇 | 四位 |
| 朝野(長崎) | 四分〇七秒三〇 | 五位 |

男子シングルスカル敗者復活戦 (6↓2)

| | | |
|-----------|---------|----|
| 滋賀D (滋賀) | 三分五〇秒八六 | 一位 |
| 伊藤 (鳥取) | 三分五四秒九七 | 二位 |
| 滋賀C (滋賀) | 三分五九秒一三 | 三位 |
| 北村文優 (熊本) | 四分〇三秒二六 | 四位 |
| 朝野 (長崎) | 四分十一秒九六 | 五位 |
| 流星 (熊本) | 四分一二秒六八 | 六位 |

一般舵手付きフォア予選 (5↓2)

レースNo.3 予選A組 (5↓2)

| | | |
|-------------|---------|----|
| 滋賀医科大学 (滋賀) | 三分一八秒七一 | 一位 |
| 阿修羅 (熊本) | 三分二〇秒三八 | 二位 |
| 天風 (岡山) | 三分二六秒四九 | 三位 |
| 蓋世 (長崎) | 三分三一秒三九 | 四位 |
| 青洲 (和歌山) | 三分四三秒三〇 | 五位 |

レースNo.4 予選B組 (5↓2)

| | | |
|-------------------|---------|----|
| 鵬翼 (長崎) | 三分一六秒三八 | 一位 |
| IXION (大阪) | 三分一八秒六七 | 二位 |
| 日向JIS + 2D37 (宮崎) | 三分二〇秒八六 | 三位 |
| 魁偉 (佐賀) | 三分三一秒一九 | 四位 |
| 早良 (福岡) | 三分四二秒五七 | 五位 |

一般舵手付きフォア敗者復活戦 (6↓2)

レースNo.22 敗者復活戦B組

| | | |
|----------|---------|----|
| 煌牙 (産業) | 三分二七秒八二 | 一位 |
| 天風 (岡山) | 三分二八秒〇一 | 二位 |
| 魁偉 (佐賀) | 三分二八秒五九 | 三位 |
| 蓋世 (長崎) | 三分三二秒六六 | 四位 |
| 青洲 (和歌山) | 三分四七秒二〇 | 五位 |
| 篠山 (久留米) | 三分五〇秒四三 | 六位 |

レースNo.32 準決勝A組 (3杯あがり)

| | | |
|-------------------|---------|----|
| 鵬翼 (長崎) | 三分二二秒六六 | 一位 |
| 芝蘭 (京都) | 三分二二秒一一 | 二位 |
| IXION (大阪) | 三分二三秒一七 | 三位 |
| 日向JIS + 2D37 (宮崎) | 三分二六秒八七 | 四位 |
| 龍神 (熊本) | 三分三一秒七四 | 五位 |
| TRISTAN (大阪) | 三分三四秒八三 | 六位 |

決勝タイム

| | | |
|--------------|---------|----|
| 長崎大学 (鵬翼) | 三分一六秒二八 | 一位 |
| 佐賀大学 (雷光) | 三分一六秒六一 | 二位 |
| 大阪大学 (IXION) | 三分一八秒三五 | 三位 |
| 京都大学 (芝蘭) | 三分一八秒五一 | 四位 |
| 熊本大学 (阿修羅) | 三分二〇秒〇五 | 五位 |
| 滋賀医科大学 | 三分二〇秒三六 | 六位 |

● 新人舵手付きフォア

新人舵手付きフォア予選 (6↓2)

レース No. 7 予選 A 組

熊本大学 A (熊本)

不死鳥 (宮崎)

SPIRITS (鳥取)

崎陽 (長崎)

阪大 D (大阪)

筑水 (久留米)

三分三二秒五九 一位

三分三三秒七八 二位

三分三五秒四四 三位

三分三六秒四五 四位

三分五九秒五五 五位

四分〇二秒四二 六位

敗者復活 A 組

4 普賢 (長崎)

3 崎陽 (長崎)

2 EVIZO (大阪)

6 筑水 (久留米)

5 力 (金沢)

三分三九秒八一 一位

三分四〇秒二九 二位

三分四六秒二七 三位

三分五八秒一二 四位

四分〇八秒九一 五位

敗者復活 B 組

3 汁 (浜松)

4 SPIRITS (鳥取)

6 T-time (大阪)

2 紫皇 (金沢)

5 ZEAL-MAN (浜松)

三分四〇秒四二 一位

三分四二秒三四 二位

四分〇二秒九五 三位

四分〇三秒二八 四位

四分〇七秒七九 五位

レース No. 8 予選 C 組 (6↓2)

葉隠 (佐賀)

ASTRIA (大阪)

普賢 (長崎)

汁 (浜松)

力 (金沢)

玄海 (福岡)

三分二九秒八〇 一位

三分三三秒五五 二位

三分三五秒一八 三位

三分三五秒七八 四位

四分〇二秒六五 五位

四分一三秒三五 六位

敗者復活 C 組

4 天照Ⅲ (宮崎)

3 たいがーす (熊本)

5 左曲がり (浜松)

2 阪大 D (大阪)

6 玄海 (福岡)

三分四四秒四六 一位

三分四七秒五〇 二位

三分五三秒八七 三位

四分〇五秒二一 四位

四分一七秒四三 五位

準決勝A組

| | | | |
|---|-----------|---------|----|
| 3 | 神鷹 (佐賀) | 三分三二秒五一 | 一位 |
| 4 | 葉隠 (佐賀) | 三分三三秒九二 | 二位 |
| 5 | 総row (京都) | 三分四〇秒六四 | 三位 |
| 6 | 普賢 (長崎) | 三分四二秒五九 | 四位 |
| 2 | 不死鳥Ⅲ (宮崎) | 三分四三秒四二 | 五位 |
| 1 | 崎陽 (長崎) | 除外 | |

準決勝B組

| | | | |
|---|--------------|---------|----|
| 3 | 白虎 (熊本) | 三分三八秒二七 | 一位 |
| 4 | 熊大B (熊本) | 三分三八秒五一 | 二位 |
| 6 | 汁 (浜松) | 三分三九秒八二 | 三位 |
| 5 | 浮立 (佐賀) | 三分四〇秒三八 | 四位 |
| 2 | ASTERIA (大阪) | 三分四一秒四八 | 五位 |
| 1 | 天照Ⅲ (宮崎) | 三分四四秒八二 | 六位 |

レースNo.40 順位決定戦

| | | | |
|---|-------------|---------|----|
| 5 | 大阪 (ASTRIA) | 三分三三秒〇六 | 一位 |
| 6 | 佐賀 (浮立) | 三分三三秒三九 | 二位 |
| 4 | 宮崎 (不死鳥Ⅲ) | 三分三六秒七八 | 三位 |
| 2 | 長崎 (普賢) | 三分三七秒〇七 | 四位 |
| 3 | 宮崎 (天照Ⅲ) | 三分三九秒八六 | 五位 |
| 1 | 長崎 (崎陽) | 三分四五秒二〇 | 六位 |

2010年 インカレ

No.60 予選H組(4→1)

※レーン、クルー名、タイム(500m/1000m/1500m/2000m)、着順の順に表示してあります。

| | | | | | |
|---|------------|----------|----------|----------|-------------|
| 1 | | | | | |
| 2 | 長崎大学医学部 | 02:00.25 | 03:58.24 | 05:58.60 | 07:59.56 2 |
| 3 | 一橋大学 | 01:51.26 | 03:46.40 | 05:44.04 | 07:38.29 1 |
| | | | | | →Semi-Final |
| 4 | 早稲田大学理工漕艇部 | 01:57.07 | 04:00.84 | 06:08.27 | 08:13.46 4 |
| 5 | 立教大学 | 01:58.49 | 03:59.36 | 06:05.54 | 08:12.68 3 |

本日行われた敗者復活戦の結果です。

※レーン、クルー名、タイム(500m/1000m/1500m/2000m)、着順の順に表示してあります。

No.114 敗復C組(4→1)

レクルー 500m 1000m 1500m 2000m Rank Qualify

| | | | | | |
|---|----------|----------|----------|----------|-------------|
| 1 | | | | | |
| 2 | 成城大学 | 01:50.15 | 03:47.86 | 05:48.96 | 07:48.54 3 |
| 3 | 山口大学 | 01:41.98 | 03:29.70 | 05:21.46 | 07:12.58 1 |
| | | | | | →Semi-Final |
| 4 | 長崎大学医学部 | 01:45.70 | 03:39.49 | 05:35.00 | 07:31.61 2 |
| 5 | 滋賀大学経済学部 | 棄権 | | | |

| | | | |
|---|------------|---------|----|
| 5 | 熊本大学A (熊本) | 三分二九秒五三 | 一位 |
| 2 | 神鷹 (佐賀) | 三分二九秒八六 | 二位 |
| 4 | 葉隠 (佐賀) | 三分三〇秒〇二 | 三位 |
| 6 | 白虎 (熊本) | 三分三〇秒四九 | 四位 |
| 1 | 総row (京都) | 三分三七秒五二 | 五位 |
| 3 | 汁 (浜松) | 三分三七秒九二 | 六位 |

〇九→一〇年度COX記

Aクルー記

今年はクルーを固定せず、より艇を進めることのできるローヤーが模索され、けが人が頻発したことも相まって、メンバーチェンジが頻繁に行われた。この点はコックスについて例に漏れず、今年度現役（一〜四年）のコックスは二名いたが、九山以降しばらくは三漕が、関西選手権以降西医体、インカレは丹下が務めた。

九山（三漕）

奇しくもコックスデビュー戦となる。試合どころかレーンを走るのも今回が始めて。また、今大会は例年より開催が早かったため練習期間も短く、サイド差も大きい。不安を抱えたまま試合に臨んだ。当日コンディションは大荒れ。より一層不安は募る。スタート。不安が的中してしまう。もともとストロークサイドにパワーを買われて起用されたローヤーがいたこと、またバウサイドにパワーの強いローヤーがいたことでサイド差があったのだが、スタート直後に大きく曲がりレーンの外に出してしまう。幸い端のレーンだったので、レーン侵害にはならずすんだが、慣れない借艇、拙いラダーワークでなかなか思うよう

に修正できない。ローヤーも焦りが増すにつれサイド差は増すばかり。ようやく五〇〇m過ぎで元に戻り、周りを見渡すと、先頭を行く佐賀、熊本には先に出られていたが、宮崎、産業はほぼ一艇身内の射程圏内。ここで勝負に出ようとコールを入れるも、再びレーンを逸れてしまう。結局レーンに戻るまでで精一杯で終わってみれば五位と完敗。鵬翼の名にこれ以上ない泥を塗ってしまった。とにかくまだ三月、これから立て直さなければ。

関西朝日レガッタ（三漕）

怪我やクルー選考のため、九山から二名のメンバーチェンジを行って臨んだ。この大会に出場するのは実に四年ぶり、関西の大学（医学部、医学部外も）や社会人チームも出漕する規模の大きな大会である。Aクルー一艇が参加した。

予選

スタートから序盤で一位の艇と一艇身ほどついたものの、それほど離されずまずまずのペース。三〇〇mで整調がフィニッシュでオールが抜けずに崩してしまい、ここで減速。コールを入れ、立て直そうとするもばたついたままでズルズルと後退してしまう。レートは序盤三二前後、崩してからは二九前後。結果は一位（立命館大学）と一九秒差の四位だった。九山の時ほどではないが、まだ慣れない

い高レートになるとサイド差、押すタイミングのズレにより艇が曲がってしまう。なかなか艇を真つ直ぐ進められない。

敗者復活戦

スタート出だしはまずまずで、艇の方向も真つ直ぐ。隣の大阪市立大が少し抜けて一位だったが、序盤でうちと二分の一、四分の三艇身ほど。他は混戦で、やや出られてうちが四位くらいでした。スタート直後の rate は三四〜三五度、四〇〇mで最初のスパート。ここで伸びはじめるも、艇が曲がってしまった、隣の空いた一レーンへ入ってしまった。ラダーを大きく切ったこともあり、崩したりで思うように伸びきれず、三位どまり。二レーンに戻ると大きく崩してしまいそうだったので、そのまま一レーンをいくことにする。二位との差は一艇身ないくらいで、七五〇mでスパート。ここで思うように伸ばせず、さらに二枚あげをいれるもあげきれず、一位と四秒、二位と三秒、四位と二秒差の三位でゴール。コンスタントゴールまで rate は三〇〜三二度。二日目ということで落ち着いて入ることができ、予選よりもより楽にレートは出せた。また、多少崩れてもその後立て直すことができたのは大きい。ともかく次の日に繋げてやや安堵する。

準決勝

コーチの指示で、三〇〇、五〇〇、七〇〇m前後でスパートを入れるプランで臨む。最初の三〇〇mのスパートで思うように伸びず、逆に前に行く先頭集団（今治造船ほか四艇）に離されかけ、五〇〇m手前で二度目、七〇〇m過ぎにもう一度スパートを入れる。自力の差か、思うように詰めきれず。最後三位から島根大学が落ちてきて差そうと鞭を入れ続けるも、詰めきれず、逃げ切られる。レートは、スタートローイングが三五〜三六、コンスタント三一〜三三ほど。一位の今治造船と一五秒差、四位の島根大学と約四秒差、六位の山口大学とは約三秒差の五位。このレースではレーンを逸れることなく漕ぎきった。当たり前のことではあるが、これがなかなかできていなかったもので、とりあえずはひとつの収穫。また、詰め切れなかったものの、ラストしっかりあげることができた。クルーとして成長できた三レースだったように思う。

九州朝日レガッタ（三漕）

朝日レガッタ後にエルゴタイム部内一位のメンバーが怪我をして離脱。朝日レガッタで調子が上向いていたが、クルー内に不穏な空気が流れる。四月に背中を痛め一旦離脱していた粕谷が復帰し、シート順はS竹田3水野2粕谷B川口（祐）。

大会会場は例年大荒れの遠賀川だが、今回はそれ以上の

悪コンディション。沈する艇（フオアやクオドまでも）も
続出する始末で、レースは一日延期されて行われた。

予選

スタートでミスオールがあり一艇出遅れる。すぐに立
て直して追いにいくも、ラフコンディションにオールを
取られなかなか立ち直らない。何度かアクションを起こ
しながら、六五〇〜七〇〇mの地点でようやく艇速も伸び
始め、一〜二艇身前で三位争いをしている二艇（宮崎大学
医、九州工業大学）を捕らえようとスパートをかける。と
ここで整調がシートを外し腕漕ぎ状態となる。成す術なく
失速し、最下位でゴール。このレース、一位二位は佐賀、
熊本の医学部で、九山に続いての惨敗を喫してしまう。

県民体育大会（三猪）

九州朝日レガッタの翌週のレースだったが、S水野3大
井2松浪B竹田にクルーチエンジをして臨む。

予選

毎年ほぼ身内でのレースとなるこの大会だが、今回も
例に漏れず、予選は長大新人艇の普賢との二艇レース。実
質、レーンを使つてのハイレートの練習のようなものだっ
た。新人艇とはスタートから水をあげてゴールする。この
クルーでは、今まで以上にサイド差が大きい。レース中も

何度となく隣のレーンに寄ってしまう。特にハイレート時
やゴールが入って力むと顕著になり、四艇レースとなる決
勝に不安が残る。

決勝

長大の蓋世、崎陽と、国体選手などを寄せ集めたROW
馬伝との四艇レース。予選時と比べて少し横向きの流れが
強く嫌な感じ。サイド差も考慮してやや傾けて艇付けをし
たつもりだったが甘かった。ロールコール中にどんどん隣
のレーンにトップが流される。まずい。嫌に長つたらしく
感じるロールコールにイライラしながら、アテンションが
かかった時には隣のレーンの方に四五度ほど向いてしまっ
ていた。スタートと同時にストサイド強く叫ぶ。バウサイ
ドも状況を察知してほぼ流すだけの状態。スタートを決め
られるはずもなく、隣のROW馬伝に出られる。焦らせて
しまったストロークサイドも思うように力を発揮できず、
バウサイドもサイド差を考慮して全力で漕ぐことができな
い。さらにもうひとつ致命的なミス。距離を間違えてロー
ヤーに伝えてしまう。焦っていたのと距離表示がなかつ
たので二五〇m地点（特異的なコースで実際は三五〇m
だが）で五〇〇mと言ってしまう。それでも、ROW馬伝
には先をいかれたものなんとか二位で七〇〇m程までき
た。一艇身差から少しづつ蓋世が詰めてきている。ここで
逃げ切ろうと最後のスパートを入れるが、思った以上に漕

がされ、ローヤーの疲労色濃く伸びない。逆にさしにきた蓋世の方が勢いがあり、最後に鼻差でさされてしまった。春からコックスとして幾試合も経験してきたはずなのに、大きなミス連続。本当にローヤーに申し訳ない。ともかくこの反省を次に活かしていくしかない。

関西選手権（三漕）

うちの部で恐らく初めての出漕となる。ほぼ全員が初めての二〇〇〇mレース。菊田が怪我からなんとか復帰し、S水野3菊田2粕谷B大井で臨む。

予選

二〇〇〇mの未知の距離に、恐る恐るのスタートになる。一艇出遅れてしまい、一〇〇〇mで四位と二艇身ほど離された五位。先を行く京都、関西、松山大学には離されてしまったが、四位の大阪工大とは一〇〇〇mの距離を考えると十分にさせる距離。相手の疲労も相手の方が大きいようで、五〇〇mで一艇身ずつ詰めることを考える。何度かアクションを起こしながら予定通り一五〇〇m地点で一艇身詰める。さらにここからもう一艇身詰めて、スパートで一気に抜き去ろうとしたが、こちらもバテが出てこれ以上は詰めきれずそのままの差でゴール。今回のレースで実感したが、二〇〇〇mのレースでも他のチームは一〇〇〇mと同じようにスタートを入っているようだった。やはり

スタートで出遅れると、後に響くの距離に関わらず同じことだ。

敗者復活戦

予選の反省を受けて、スタートで思い切つて出ることを確認してレースに臨む。もともとスタートが得意ではないことを考えるとまずまずの出だし。神戸大学、松山大学に一步出られるものの、三位集団やや抜けて序盤に入る。まずはここでしつかり抜け出すことを考えながら、二〇〇〇三〇〇mおきにゴールをいれ、なんとか三位を争っていた大阪工大、甲南大から一步出て一〇〇〇mを通過。前を行く二位松山大は二艇身弱の差。いける。ローヤーを励ましながら、一五〇〇mで一艇身のところまで詰めた。さらに二枚上げをいれ、追い上げようとしたところが、一六〇〇m程で整調がミスオール。結局松山大学に逃げ切れられ、準決勝進出を逃した。

後でコーチにも言われたが、今回の失敗は、近くの艇を目標にしながらかレースを展開してしまったこと。特に序盤では早々に一位の艇からマークを外し、三位争いに専念してしまつたため、結果として二位の艇にも後追いになつてしまい、三位という結果に終わってしまった。距離が長い分、二〇〇〇mでは駆け引きも増え、より一層戦略が重要になつてくる。今回の大会は、ローヤーにこの距離を経験させることができたことに加え、そういった意味でコックス

スの私にとつても非常に勉強になった大会だった。

西医体（丹下）

大会二週間前からAクルーに変更となった。この時期Aクルーは併走すれば教育にも負けることもある位酷かった。Bクルーから見ても自分たちのほうが早いじゃないかと思つたくらいだった。そんなわけでAに乗つたが大会一週間前に水野さんがイレウスでぶつ倒れる。部内で色々もめた結果、松浪さんに乗ってもらうことに決まつたが、それまでは三人で練習したりとかなり苦労した。松浪さんは五年生ではあつたが、シーズン当初から教育に乗つておりまじめに練習をこなしていたこと、自分の課題点を考えて練習の中でさまざまに工夫していたことから去年のシーズンよりもさらに漕げるようになっており、そのような練習に対する勤勉さが松浪さんが事実上引退学年であるにもかかわらずAクルーに乗ることをお願いした最大の理由だと考える。

予選（6↓2）

宮崎と大阪と長崎の三艇で上がりを感じと予想。とありあえずスピードを落とさないようにすること、なるべく早く最高速度に乗せること、大きくストロークすることを確認して出艇。大阪はスタート三六、コンスタント三四くらい。スタートは半艇身ほど出られるが、

スタートスパート三六くコンスタント三二の入りでストロークあたり二〇cmくらいこつちの進みがよいのでそのまま漕いでもらう。じわじわ追い上げる。スタートでがつり曲げてブイ叩かせてしまつてすいません。五〇〇手前で半艇身リードを奪うくらいに出れたので七〇〇でコーチの指示通りレート強度MAXでスパートを入れて二位に二秒差つけてゴール。スパートのレートとスピードが上がらなかつたのが懸念として残る。でもまあ、ラスト一〇〇〇で大阪からガチスパートの雰囲気を感じたが躲したので安心。

準決勝

大阪と京都と長崎で上がりを感じと予想。スタートは出られることを前提で自分たちのパフォーマンスでしつかりこぐことを確認。レース直前にマイクが故障して棧橋に戻り、先輩に怒られながら部品を付け替える。ちよつと去年とだぶつていやな予感がする。蓋世クルーには余計な手間をかけさせて申し訳ありませんでした。

すぐに出てアップ不足のままスタート地点へ。スタート三四コンスタント三四、スタートは一身近く出られる。あまり伸びはよくないがコンスタントの伸びを感じる。五〇〇過ぎには追いつくペース。五〇〇過ぎて少し出る。大阪はレート三四く三六くらいだろうか。京都も三二く三四くらいで七〇〇過ぎまで三艇ほぼ団子でうちがカンバス出

てるか出てないかくらい。スタートを先に入れて躲しきれるかと思つたが、京都がレート三六〇三八くらいでガチスパートをかけてくる。これはまずいと思いつつドライブを鋭くのコールを入れて艇のスピードを上げようとしてみるがあまり上がらず〇・五秒差でギリギリ一位。もちろん五〇〇手前でブイを叩いた…。

決勝

準決勝のタイムでは一応一位だが鬼コーチの提示する五分一〇秒にはまだ届いておらず、決勝は三分一〇を切りに行くことで確認。前日スパートが伸びなかつたのはアップ不足という事もあり、心持ち早めに出る。練習の時点ではここ三日で一番調子がいい。

大阪、京都、長崎、佐賀での上位争うになると予想された。スタートはいつも通りがつつりでられる。どうかほかの大学はスタートでうちに差をつけることでアドバンテージをできるだけ多くとっておきたい様子。一・五艇身は出られた印象。前は大阪と京都続いて佐賀と長崎でスタートスパートからコンスタントに映る。

うちはスタート三六スタートスパート三四だがほかの大学はこれより二枚は高い印象。大阪はレースを通して三六を下回っていないと感じた。コンスタントの伸びが一番いいのでスピードを落とさないようにちよこちよこイベントを入れて五〇〇手前で抜きにかかるが、ラダーが下手すぎ

てブイをしこたま叩く。COX下手すぎて泣けるとか思いつつ思つたより崩れなかつたのでそのままストロークの大きさとドライブスピードに気を付けながら艇速を落とさないことを前提に進める。七〇〇過ぎでカンバスちよい出て長崎、京都、大阪、佐賀の順に見える。先にスパートを入れた方の勝ちだろうと踏んでリードを確認してすぐスパートを入れる。とことん強く漕いでレートを上げ、スピードを出すしかない。しかしこの大会を通して（厳密には大会一週間前くらいから）問題だったスパートが上がらないことがやはりここでも出る。九〇〇ちよいで横を見ると佐賀がすごい勢いで差しかかってくる。これはヤバイとさらにドライブスピードを上げるコールを入れる。一ストローク単位で順位が変わりかねない。残り三ストロークほどのところではまだ出ている。このままなら多分躲すだろうと思いつつ、ゴールの瞬間相手より前にいるのを確認しながらゴール。この瞬間菊田君の西医体無敗と今季全レースブイバコが確定。正直すまんかった。

インカレ（丹下）

インカレについては全レース通して医学部とそれ以外のクルーの練度の違い、モチベーションの違いを思い知らされた。その中でもCOXの練度は全く戸田のレベルに追いついておらず、皆には非常に迷惑をかけてしまいました。ただ、部活全体とまではいかないものの、上位クルーを

争う選手層については厚みが出てきて、特に一年生の伸びは素晴らしいのであま一〇〇〇mにこだわらずボート競技は二〇〇〇mが標準で医学部の大会とかの一〇〇〇mというのは大した大会では採用されない距離で、医学部の対校なんて高校の新人戦より下だということを考えて（よく練習している高校生を見てもわかると思いますが）ハードに練習すれば、二・三年のうちには優秀なCOXも出てきてインカレでも互角に争う体制が整うのではないかと思いません。

Bクルー記

丸山（丹下）

斑蛇は六レーンなのだが、審判が試合をすぐ終わらせたいらしいので七艇レースで一発決勝となる。七レーン目にはもはやステッキボードもなくなんとなくそろったらスタート。

あやふやなレースだった。

レース展開…スタートレートは三四でそのままスタートスパート。コンスタントは三二。スタートから佐賀の二艇が抜け出し、次いで熊本、だいぶ離れて宮崎長崎でやや併走。五〇〇過ぎからOBの二、三人乗ってる宮崎がずるずる落ちてきて自滅気味に位置を下げる。上位三艇とは全く勝負にならなかった。

反省・オフから徹底していたと思われていた強いストロークを持続することは多少できていたが、それ以外にまったく真後ろに船を進めるという意識がまだだと思った。一応まったく進んだのでCOX的にはぎりぎりセーフ（アウト？）

九州朝日レガッタ（丹下）

遠賀川は相変わらずのラフコンでレース前に転覆したりして艇が折れている学校もあった。

COXとして安全管理について改めて考えさせられたし、ラダーワークも話にならなかったもので、一年近くたつた今でも思い出しただけでもゲロを吐きそうなくらい最悪な大会だった。

レース展開…産医と山口大学とのレースとなった。どちらも実力はこつちより上に思える。

とりあえずどこまで着いていけるかが焦点だと思った。スタート（Rate三二〜三四）は予想外にこちらがでる。五〇〇過ぎて半艇身リードして一位？こつから艇がまったく進んでるかどうかわからなくなる。隣のレーンに入つたような気がしてパニックになり、もうそこからはあまり覚えていない。ゴールしたら三レーンくらい隣にいた。おそらく僕がまったく進めていけば駆つていた試合ではないかと思う。COXのせいで負けた試合。試合後の生ぬるい慰めがきつい。全員にリンチされても文句言えない

レベル。

県民体育大会（丹下）

この大会のレーンは良心的で広くて見やすい。今度こそまっすぐ進めると意気込んで試合に挑んだ。一週間前にクルー交代により粕谷が参加する。クルーに活気が出てきて、久々に元気にストロークするクルーができたように思う。

試合前にROW馬伝はインカレ強豪出身のおっさんばかりで未だにうちの学校では歯が立たないので、とりあえず大きくストロークしてフィニッシュでしっかり艇を進める事を確認して試合に。

クルーでスピードを出すイメージが統一されているとミーティングもよくまとまるし、一体感が出る。いつもCOXの身勝手なイメージを押し付けがちになるが、漕手主体のイメージのほうが鮮明だし共有して発展させやすいのもあると思う。（COXの技量がカスなのもある）。うちの大学の漕手は大して技量のないCOXのいうことばかり鵜呑みにしてるけど、あんまり信用せず自分の感覚を大事にして、それが艇のどういう動きで何を改善するべきなのか自問自答していけばつまらない練習も創造性を持つんじゃないかと思う。というかそっちのほうがCOXの下手なバイアスに左右されず早くうまくなると思う。

レース展開…スタートからROW馬伝は飛び出てさよ

うなら。後は鵬翼と蓋世でドベ争いの試合となる。スタートレート(三二〜三四)から三二でスタートスパートでそのままコンスタント三〇〜三二。ROW馬伝は遙か彼方。スタートから蛇行しながら進む。たぶん五〇〇までに二回はブイをぶつけてるように思う。鵬翼とは半艇身くらいでずつと進む。引き離される印象もなく、大体同じスピードで進んでいるようだ。七〇〇過ぎてイベントを入れて少し並びかける印象を受けたのでそのままスパート三四〜三六でフィニッシュ中心にスピードを上げてもらってギリギリ鵬翼を刺す。相変わらずまっすぐ進まない試合だった。やはり漕手に対してCOXが相当未熟だと考える。

関西選手権（丹下）

二〇〇〇mレースで関西の強豪と戦える貴重な試合。しかし二〇〇〇mをハードに漕ぎきれる技術、体力があるかというところではなかった。レース展開もスタートからぶつちぎられておしまい、全く相手にならなかった。（AもBも）それが明らかになっただけでも十分な収穫といえる。大会の間隔があくということとはそれだけ外部と自分を比べる機会が少なくなるということであり、自分たちの目標とする大会にむけての仮のエンドポイントとして使うことで現状での到達点を評価するいい機会だと考える。遠征費や日程の関係、出たところで勝てないのなら出なくてもいいのではないかと考えるOBの方々がいらっしやる

のも承知ですが、前述のように自分の立ち位置を知るとい
う意味で色々な大会に出る意義という点ではこの関西選手
権は十分に機能しうる大会だと思えます。ただ部活の競技
レベルの目標があやふやであったりして、ただ出るだけと
なった場合は出る価値はない。その点では競技レベルの目
標が明らかであるクルーもしくは目標を持った意欲ある選
手だけを派遣するという方向でもいいかもしれない。

西医体（三瀧）

関西選手権（七月初旬）後にコックスが丹下↓三瀧に
チェンジ。この年の方針&けが人の関係でめまぐるしく
クルーが入れ替わっていたが、ローヤーはこの頃にはS川
口（祐）3田尻2鴨打B竹田でほぼ固定、このシート順で
本番に臨む。二年生主体のこのクルーは、解剖実習中で忙
しいこと、調子がなかなかあがらないこともあり、なか
か練習密度が上げられない。また、メンバーの怪我也重
なり、最後にロングのハイレートで追い込み切れず、不安を
抱えたまま本番に臨んだ。

予選

二番艇ということもあり、優勝候補の熊本、滋賀医、さ
らに岡山、和医大の対抗艇に当たる。スタートレート四〇
オーバーで入り、先に出て主導権を握る、はずだったが、
緊張からか二番が二本目でミスオール。大きくラダーを

切りながらのスタートスパートになり、思うように伸びな
い。それでも序盤首位に立った隣のレーンの熊本に三〇〇
m地点ほどで一艇身強差。滋賀医ともそれほど差はない。
ここからコンスタントで詰めていきかけたが、やはり
練習できていないことは試合ではできないもの。コンスタ
ントレート三七〇三八でいくもじりじりとこの二艇に離さ
れ、七〇〇m程でいつの間にか後ろから追い上げてきた岡
山にさされ、四位でゴール。この試合でスタートスパート
以降のコンスタントの伸び、スタミナという点での課題が
浮き彫りになったが、逆にミスオールがあつてもそれほど
離されなかったスタートスパートは大きな収穫だった。こ
の点をクルー間で確認し、敗者復活戦に備える。

敗者復活戦

敗復は五レーンと、順流が強く出るレーンに当たる。
コーチからの指示で予選より少しレートを落とすとして落ち
着いてはいる。スタートは無難にきまり、出はしないもの
の、佐賀と産業の首位争いに食らいついて序盤戦を通過。
後半にかけてこちらのレーンの方が流れが強くなるので、
それまで我慢、と思っていたのだが後から思えばこれが大
きな判断ミス。この日はほとんど流れはなく、こちらが優
勢になることなく前の二艇に先に仕掛けられてしまう。さ
らに予選と同じくいつの間にか岡山が迫ってきている。ま
ずい。慌ててこちらにもイベントをいれ、最後スパートに移

るが、この遅れが命取りとなった。結果、岡山にまたしてもさされ四位でゴール。今シーズン最後のレースとなってしまった。

Cクルー記

九州朝日レガッタ(上瀬)

S 有賀 3 池田 2 福田 B 陣野

けがのため急きよコックスに転向したデビュー戦。一年生は初めての大会ということもあって緊張していただろうが、なにより自分が一番緊張していた。

ナックル艇はラダーが異常に大きいこともあって効きやすく安心した。レースは一年生が勝ちたいと主張したこともあって、まずは予選通過をねらいにいった。六の二あがりなので、社会人の新日鐵八幡が確実に一位に来ることを考えて、二位をねらった。

スタ練をやっていたためはじめは一、二レーンの宮崎と久留米にでられて四位だったが、じわじわと間をつめ宮崎を二〇〇mでかわし、四〇〇mで久留米と並び、最後は一年生が気合の違いを見せつけ二秒差で久留米をかわして二位となった。部活に入って初めてのレースだったためか、一年生がガッツポーズして嬉しさを爆発させていた姿が忘れられない。自分とは言えば、無事艇をまっすぐ進ませることができて一安心。

準決勝は五の二上がりだった。ここで何とも不運に予選で当たった新日鐵八幡と同組になった。よって今回も二位ねらいでいった。スタートは相変らず出れなかったが、じわじわ間をつめ二五〇m地点で三位の宮崎をかわし、三五〇m地点で二位の久留米(二番艇)に半艇身差まで詰め寄った。残るはラスト勝負だと判断しとにかく最後強く漕ぐように指示したが、ローヤーに体力は残っておらず、つめられないままゴールで結局三位となり準決勝敗退。ただ試合前に三回くらいしか乗艇していなかったことを考えると上出来で今後に期待を持てた。

県民体育大会(上瀬)

S 有賀 3 池田 2 福田 B 陣野

三艇レースだったが、一年生が乗っている艇はうちだけで、別の組の教育艇とのタイムを競うレースとなった。レース前にラダーが劣化のためまったく効かなくなり、ラダーなしのレースになった。そのためバウにラダーの代わりを担っていた。一年生にとっては初めての一〇〇〇mのレースということもあって、気力と体力との戦いだった。自分とはにかくレーンからはみ出ないように「バウ強く!」、 「バウ弱く」とひたすら連呼し、そのままレースは終わった。あとは別組の教育艇の結果を待った。運よくわずかの差で決勝進出。決勝に進んだはいいもの。のまたもや孤独なレースになるのかと思っていたら、敗退

した教育艇が審判に頼み込んでまさかのレース参加。よって決勝は自分たちにとっては教育艇対決となった。予選同様ラダーが効かないため、バウにひたすら連呼。もう一艇とは抜き抜かれのダンゴ状態で九五〇mまで。自分とは言え、コックスというよりは応援してる人のようにがんばれ、がんばれと叫んでいた。その声が届いたのか、ローヤーが相手よりちよつとだけ頑張ってくれて〇・五秒差で逃げ切った。

西医体（水野）

まず今大会では大会数日前に急きよ僕（水野）がCOXをさせてもらうこととなった。僕が大会十日ほど前に入院したため、多くの部員に迷惑をかけてしまったことを本当に申し訳なく思う。こうした理由もあり、僕がこのクルーのCOXとして艇に乗ったのは天竜に着いてからであつた。

予選

天竜に到着してから行った公式練習ではまだ漕ぎに硬さが見られたが、少しずつ艇の進み方は良くなってきていた。予選では一時間前に蹴りだし、適度に体が温まったかなというところでスタート位置へ。スタートは三本目で艇が傾いたが、すぐに立て直し、その後はスピードに乗った。右隣の阪大はすぐに見えなくなり、左の鳥大SPIRITS

と宮大不死鳥Ⅲと前を争う展開。ジリジリと離されたため「強く五本」のコールを250m付近で入れる。しかし思うように艇が伸びない。その時点で予定していたレートより三、四枚高い。クルーに焦りが出ていた。落ち着かせなければと思うが、自分もラダーに苦戦し思うように安定させられない。五〇〇m付近でももう一度コールを入れ少し艇が伸びるも刺すまではいかず、結果四位でゴール。

敗者復活戦

敗復は五の一上がりで、他に一艇だけタイムで上げられるという状況。にもかかわらず同じ大学の普賢と同組に入ってしまった。しかも隣のレーン。とにかく自分たちのレースをしてトップゴールを狙うことだけだを意識を統一。スタートは良い形で出て、すぐに普賢と一騎打ちの状況になった。途中二五〇m、五〇〇mでコールを入れ艇速を伸ばしたが、後半で普賢に少し出られる。最後のスパートをぎりぎりまでためてから入れ、猛追するもわずか〇・二秒差で二位となった。

準決勝

タイム順で敗復をあげることができ、ここまできた。予選、敗復とレース内容はどんどん良くなってきていた。スタートでは隣の不死鳥Ⅲが切れ込み自分たちのレーンに入ってきたが、うちの艇は崩すことなくスピードにのる

ことができた。しかし三、四レーンの艇が速く、自分たちがそのあとを追う展開に。なんとか追いつかなければと思うが、コンスタントでさらにじりじり離されていく。そうこうしているうちに五〇〇m付近で不死鳥Ⅲに並ばれる。完全に自分が舞い上がっていた。周囲の艇を気にするあまり、気がつくとも隣のレーンに侵入。不死鳥Ⅲとチャンバラしてしまった。結果除外になってしまった。必死に漕いでくれたlowerになんといつていいかわからない。自分の力の無さに気持ちのやり場がなかった。

順位決定戦

準決勝のレースから気持ちを入れ替えてとにかく最後のレースにすべて出し切ることを確認した。スタートからゴールまで全力で漕ぎきり、レースを楽しもうと言った。今レースでも隣のレーンは普賢。ライバルに力がたぎるようであった。

スタートは可もなく不可もなくのスタートであったが、カンバス差で多くの艇が並んでいるような状況。ここから伸ばそうと思いコールを入れるも二五〇mの時点で少しずつ他の艇から遅れ始めた。五〇〇mで再びコールを入れ少しは差を詰めたが、この時点で六位。とにかく最後のゴールまで勝負をしようと思い、いつもより五〇mほど手前でスタートを入れた。賭けだった。最後全力を振り絞るも差を少し縮めてそのままゴール。

レースを終えて

レースが終わった後に一年生からは悔しさがにじみ出ていた。また反省ではレースを楽しめたという言葉も聞けた。シーズンを必死に練習して臨んだレースで、ボートというスポーツの楽しさを知ってもらえれば幸いである。これからは彼らが部の新しい時代を作っていくてくれることと思う。

Dクルー記

僕がコックスをやらせていただいたのは、五月と七月の期間という短い間ではあったが自分のなかでは強烈に記憶している。そもそもは僕が関西朝日選手権のあと骨折をしてしまい、漕げなくなってしまうことがコックスをすすめるきっかけであった。初めて一年生と乗りまたコックスはもちろん初めてだったので、最初はわからないことだらけで、ローヤーにはかなり迷惑をかけてしまった。しかも、すぐに九朝を控えていたために短期間なんとか試合ができるクルーに仕上げなければならなかった。陣野さんとも相談しながら練習メニューを考え、体力をけることを最優先にした。(菊田)

九朝(菊田)

試合前の練習では藤田さんが乗っているバウサイがか

なり曲げて、なかなかまっすぐ進まずまたストサイ強く
とコールをかけた直後になぜか藤田さんが強くこいでし
まいさらに曲がるという、いろいろな問題をかかえたま
ま試合に臨んだ試合直前の練習ではなかなかいい感じで艇
が進んでホットした。スタート直後ストサイ側に曲がった
がラダーでなんとか持ち直し、そのままコンスタントを入
れた。百メートル付近ですでに頭ひとつ抜けていたので、
励ましつつラスト百メートルでスパートを入れてそのまま
余裕でゴール。一年生は初めてのレースであったがいい感
じで漕げていた。これはいけると思い準決勝に臨んだ。ス
タート直後かなぜかバウサイ側に大きく曲がり、ラダーで
修正しようとしたがテンパっていたためおそらくラダーを
きりまちがえ、修正できず隣のレーンに侵入してしまい失
格になってしまった。ローヤーには本当に申し訳ないこと
をして、ボートをやって初めて真面目に反省した。

県漕（菊田）

九朝の直後に藤田さんと相談し、形から入るとい
意味で、ジャーマンリガにしてみた。練習ではあまりうまくい
かず試合ではなんとかなるだろうと思った。

予選では、やはりスタートで大きくストサイに曲がる。
スタートで大きく出れたがなんとか持ち直したが、船は
ジグザグ蛇行を繰り返して、ローヤーを励ましつつ船をまっ
すぐ進めようとする。しかし、うまくいかず中盤以降スト

サイが完全に負け、またへばつてきたのか艇速が落ち、崩
れる。そのまま立て直せずスパートをかけるもあまり艇は
伸びずにそのままゴール。結果は次の組の普賢に負け予選
敗退。このままでは終われないと思い、藤田さんと一緒に
大村高校の先生に決勝のレースでレーン外で並べていいか
尋ねてみたら、許可をいただき一年生に再びやる気を出さ
せレースに臨んだ。スタートではあらかじめ船をバウサイ
に曲げておいた。スタート直後やはりストサイに曲がるが
それほど大きくは曲がらず、隣の普賢より少しでした。隣に
普賢がいたせいかもしれないも以上に船が進みいい感じで中盤
を迎えた。中盤以降は少しずつ艇速が落ち普賢とのデッド
ヒートになった。そのままラスト百メートルを迎え少しづ
つ普賢の艇速が速くなり僅かに抜かれゴールした。一年生
は初めてボートで悔しい思いをしたと思うし、このレース
で確実に成長したと思う。自分としてはよくここまで一年
生が頑張ったと思うし、ついてきてくれたと思った。自分
はこのクルーで西医体に出場したかったが、ケガの治りが
予想外に早かったのが本当に残念ながらこのクルーを離れ
なければならなかった。

一年生にはこの悔しい思いを糧にして今後のローイング
人生を歩んでほしいと思った。
ちなみにジャーマンリガーは間違えでした。

西医体（上瀬）

S川口 3佐藤 2二宮 B藤田

自分がこの艇に正式に乗ったのは六月末で、約一ヶ月後の西医体で結果を残すために頑張った。クルーの調子はだんだん上がりそのまま大会にのぞんだ。

予選

スタートで一レーンの佐賀が大きく飛び出したが、他は団子状態。四〇〇mくらいからうちと浜松と大阪が二位を争う展開となった。五〇〇mを過ぎて切り替えて大きく一〇本のコールを入れると艇の進みはよくなり、単独の二位となった。このとき三位との差は半艇身だった。七〇〇mくらいで浜松と大阪があげてきたので、すかさず二枚上げのコールを入れてこのまま逃げ切ろうと試みたが、逆に崩してしまい八〇〇mで二艇にかわされ四位となる。最後は強く強くとコールをかけて、ローヤーも必死に漕いでくれたが、三位になるのが精いっぱいだった。今回の結果でスタート、ローイングで出ることの重要性和最後の粘りの大切さをクルーで感じたので、次のレース前の練習に生かすことにした。

敗復

タイム的に見てうちと崎陽の一騎打ちとなった。前日の反省を生かしてスタ練を多めにやっていたためか、スター

トで少しだけ抜けた。二戦目でしかも相手が崎陽ということもあつて一年生が落ち着いていたためか、本来の大きく丁寧な漕ぎができた。スタートでついた差をそのまま維持し、七〇〇mを通過したところでさらに強く漕いで逃げ切ろうとしたが、崎陽はそれを簡単には許してくれなかった。だんだん差が縮まり、最後はほぼ同着。結果待ちとなった。運よく〇・五秒差で一位となり、準決勝進出。崎陽もタイムで拾われ準決勝進出となったのでうちとしては万歳だった。

準決勝

決勝に進むためには三位に入らなければならなかった。その緊張もあつたためかスタートでストサイのオールが浮き、バウサイが大きく勝つたため、艇は大きく曲がりラダーを必死に切るも隣のレーンに三分の一艇身入ってしまった。そこから持ち直したが、すでに一〇〇mで一艇身出遅れてしまった。そこから落ち着いて大きく漕ぐよう指示し、五〇〇m地点では三位の京都に半艇身までせまつてそのまま七〇〇m地点へ。ここで勝つために二枚上げをコールして、艇速は上がったが、京都のほうがそれに勝っていたため差を三分の二艇身に広げられゴール。スタートが悔やまれるが、ローヤーを立ち直らせて、決勝に導いてやれなかった自分が悔しかった。

順位決定戦

とにかくこのクルーで漕ぐ最後のレースなので思いつきり漕ぎ切ろうということでのぞんだ。結果は四位だったが、自分にとっても一年生にとっても次につながるレースができたと思う。

今回、コックスをやつて、練習でやれたことを試合で出すこと、練習と異なる環境になつてもローヤーを落ち着かせ、導いていくことの難しさを感じた。ただ艇の進みに敏感になつたり、考えたりすることも多くなつたので、このくらいローヤーになつても感じ、考えられればきつとこの体験が無駄にはならないだろう。

部員雑感

雑感

一年 有賀 健治

一年有賀です。練習が始まって早半年。よく「なんでそんなキツイボート部入ったの？」って聞かれるのが辛いです。答えられへんし…でも確かなことはこんなにあついで部活は他にはないってことです。二連覇目指して頑張りましょう！

雑感

一年 池田 英史

勢いでボート部に入り、ボートを好きになり嫌いになりそしてまた好きになり…そしてこれからもぼくとボートの日々は続いていくんだな…と思うと、わくわくします。どこよりも速く、楽しく漕いでいきたいと思います。

雑感

一年 川口 雄史

ボートを漕ぎ始めて早くも半年が過ぎました。入ったばかりの頃は、早く練習してみたいと思っていたのに…。

今となつてはどうかやってエルゴのメーターを壊すかを話し合う日々です。みんな大事な事を忘れていたような気がします。エルゴはボートじゃない！

20minトライアル耐えられるなら、人生において何でも耐えられる気がします。

シーズン中は、藤田さん、上瀧さんの熱い指導のもと、佐藤、二宮と一緒にDクルーとして熱く楽しくやってきました。本当に多くの事を学ぶ事ができました。あざす。練習はおいしいって、面白い先輩、同級生に恵まれてボート部入って良かったような気がします。これからはしっかり部活を盛り上げて、楽しい部活をつくっていききたいです。

雑感

一年 佐藤 晋平

はじめまして。一年の佐藤です。

今春、晴れてボート部の一員となつてから早くも半年余りが経ちました。

というわけで今回はボート部に入部して良かったこと、悪かったことを挙げてみたいと思います。

良かったこと

- ・ 体力がついた
- ・ 筋肉がついた
- ・ 朝が強くなった
- ・ 良い（個性的な）先輩方に出会えた
- ・ テスト資料が良い
- ・ 飲み会が楽しい（激しい）

悪かったこと

- ・ 練習がきつい
- ・ 練習がきつい
- ・ 練習がきつい
- ・ 練習がきつい
- ・ 練習がきつい
- ・ 練習がきつい
- ・ 練習がきつい

結論

練習がきつい

雑感

一年 二宮 直樹

午前五時、車内はどんより。しかし、なんということでしょう！部活が終わった午前八時、車内のテンションはMAXに…。

ボートはきついけれど、終わった後のクルーがまとまった感じはとても好きです。ボートはきついですけど。

これからも全身全力で漕いでいきます。

雑感

一年 福田 龍一

今年ようやく大学進学を果たし、そしてその説明会の帰り、人生初の勧誘を受けたのがこのボート部でした。

：最初の頃は「軽い運動程度の部活かな」と思いながら試乗会、二次会と参加して結局入部しましたが、

まああれだけハードな運動部とは思っても見ませんでした。確かに手は痛いし、疲れるし、コックスの先輩の涼しい顔を見ると若干「こんなはずでは…」となったことも多々ありますが、

しかし。

漕いだ後の爽快感や自然の中で身体を動かせることの楽しさを考えるとやっぱりボート部は良いです。

だがエルゴ。お前はやっぱり好きになれない。

雑感

二年 鴨打 周

最近、寒くなってきました。これ以上寒くなったら、蹴り出すとき、小鹿みたいになってしまいます。

雑感

二年 菊田 龍

ボートより楽しいことや大切なものがいくつかできたので、部活自体は好きですが、正直ボートに対してはモチベーションが全く湧いてこない今日この頃です。

雑感

二年 竹田 一博

えるごはつらいばい！

雑感

二年 田尻 昌士

今年一年HPの更新をしましたが、いかがだったでしょうか？ ホームページビルダー等の有料ソフトを使わず、wiki形式のHPとして無料で運営してきました。そのため、若干見づらいところがあつたかもしれませんが、部費節約のためですので悪しからずご了承ください。

新しいパソコン（二〇万円）

ニコンの望遠レンズ（五万円）

僕の人件費（プライスレス）

右の三つで、長崎大学医学部漕艇部のHPは出来てます。お金ないです。後期は節約生活です。バイト探さないとか…。

雑感

三年 大井隆之介

今年の夏、僕の人生の中で初めて優勝というのを経験した。まさか、自分がこんな経験ができるなんて、夢にも思っていなかった。

自分はスポーツ自体好きであるが運動オンチでもあったため、中学・高学通してこれまでの部活動ではレギュラーになることがなく雑用係に回されることが多く、試合に出られないまま引退していくのがあたりまえだった。やっぱり試合に一度ぐらいは出てみたいなあ、と思うこともあったが、それでも部活動は楽しかったし、いろいろといい経験もでき良かったと思っている。

だから絶対大学でも何か部活に入りたいと思ひ、騙されつつも（笑）ボート部に入ることになった。だけど今までの部活動と違い、誰でも試合に出られるということが自分にとつては嬉しくて仕方なかった。試合に出てみて、試合が楽しいこと・試合に参加できることで今まで以上にいろんな人とも交流が持てること・また、自分が思ったよりも熱い人かもしれないこと（?）、などなど新しい発見もあった。そして今まで雑用係として働くことが多かった自分として、何だか部活動に参加できているという気がして、すごく充実しています。

まあ、部活動で頑張っているのもあと一年しかないと思うと寂しく思うけど、悔いのないようになあと一年思いっきり楽しみたい。

雑感

三年 粕谷 泰祐

昨シーズンは自分にとって色々課題が残るシーズンだった。

なんといつても、練習と勉強の両立がうまくいかず、そのことでコックスの三瀧・丹下に過密なメニューに対しての不満を言つて多大な迷惑をかけてしまった点。

正直いって、部活に明け暮れて勉強をサボり続けた昔の自分にかえつてしまふのが怖い。

そこからはい上がるのがどれだけキツイことが分かった後だと余計に：。

しかし、澁谷さんのメニューは間違いないと分かった今、どれだけ忠実にそれを消化していけるかが今シーズンの鍵なのは紛れもない事実。

昨シーズンの終わりに自分が感じた充足感を、チーム全員が感じるためにも、昨シーズンからAクルーだった自分もつとストイックにならなければならない。もつとストイックに：。

真に頼れる男になるため自分に与えられた課題ととらえ、今シーズンこそは頑張っていくつもりだ。

そして、今シーズンこそは文武両道も達成しようと思う。

雑感

三年 上瀧 善邦

レンタルDVDの新作はレンタル開始日の前日の夕方にはすでにレンタルが開始されているようだ。

長崎においてはTSUTAYA、ゲオ、遊ing全てそうだった。

夏休み、暑い中チャリで開店時間に行ったのになかった。絶望感は忘れられない。

今後気をつけたい。

雑感

三年 丹下 寛也

あと二年あればまっすぐすすめれそう

雑感

三年 朝野 寛視

三足のワラジははけない

雑感

三年 三瀧 正秀

気づいてみればボート部で三回のシーズンを終え、いよいよ次で最後のシーズンを迎える。思えば幾度となく子々

川の海へと足を運んだものだ。この二年半の間、僕の中で“海”に対しての認識がだいぶ変わったように思う。

そんな中、今年になって初めて海らしい（いわゆる一般人人間が考えるような らしい）ことをした。

ひとつは海水浴。青い空、白い砂浜、水着ギャル。ああ神様、これがまさしく海ですよね、海サイコー。なんて。普段海で見るのは屈強な野郎共ばかりな僕にとってはもう文字道理目の保養でした。しかしよく見ればビキニではなくブ○ジャーで海に漂っていたあのコは一体：いや確かに大差ないけどもさ、こつちとしてはおいしいけどさ……。

もうひとつは釣り。友達に連れられてやってみただけど、これがなかなか楽しい。子々川でも一回やってみた。何故かカニが釣れたり、毒やとげのある魚ばかり釣れたけれど。あ、ちゃんとキスやアジなんかも釣れるみたいですよ。正直言って釣りはど素人だし、

なかなか行く時間は取れないけれど、引退したら趣味としてのんびりやっていきたいなと思う今日この頃。

さて、現役ボート部員として子々川の海へ行く回数も、今まで行った回数に比べればはるかに少ない。この残された回数をしっかりと積み締めながら、最後のシーズンを満喫しようと思う。

雑感

四年 川口祐太郎

部活を引退して、まだ二ヶ月しか経ってないのですが、すでにボートを漕いでたあの頃が懐かしく感じます。現役の時、引退した先輩方に支えられたので、現役時代に来れなかつた事を含めて、後輩のためにしてあげられる先輩に自分もなりたいたいと思います。現役の皆さん、何かあれば、ぜひ声を掛けてください。

と書く予定だったのですが、週一回くらいクルーの怪我等でボートを漕いでおります。今日も子々川に行つてまいりました。やっぱりボート部からは、当分卒業できなさそうです。来年の西医も出れたらいいなって、実は考えてます。

雑感

四年 陣野 太陽

メーリスで雑感の催促をしている張本人がまだ何も書いていない。これでは示しがかぬと思うがなかなか筆が進まない。二分くらい悩んだ挙げ句、ここ最近慢性的に排便の調子がいまひとつなことを思い出し、今日から締め切り

の日まで排便日記をつけ、それを雑感とすることにした。読む読まないの判断は各自にお任せします。

十月二三日(土)

正午頃、かすかな便意をおぼえトイレに駆け込むも、小指の爪大のもの一つが出たのみで、これ以上出る兆候はなし。ウォシユレットによるマッサージを試みるも不発。

十月二四日(日)

朝、かすかに便意を感じてトイレに入るも、大きな屁一発とその勢いで小指の爪大が一つ出たあとはうんともすんともいわない。もはや前夜のアルコールによる排便作用も効かない体質になっている。

昼、目分量で五〇グラムほど。形状は小露饅頭を一回り小さくしたようなもの。

十月二五日(月)

腹部膨満感甚だしい。

昼過ぎ、一五分粘って兔糞様便を十乃至一五個ほど。

夜、昼と同じく兔糞様便十個弱。

口から入った量に対して尻から出る量が明らかに少ないが、一日に複数回排便があったことに関しては正直救われた気分だ。

十月二六日（火）

午前、午後それぞれ一回ずつ、例のごとく兎糞様便が十個ほど。

肛門に小さな裂傷あり。出血と疼痛のため、ウオシユレットによるマッサージは行わず、「やわらか」モードで洗浄。

十月二七日（水）

起床後すぐ、コロコロうんこ十個弱。

その一時間後、親指大を二つ。

昼、親指大一つにコロコロ複数。便のサイズが少し増してきた模様。

それにしても、小出しではあるが一日に複数回排便のある日が四日間も続いているのは、自宅に猿が現れること並みに珍しい。

にしても、クソみたいな雑感ですみません。ウンコだけにクソな文章…。

雑感

四年 水野 貴基

四年の夏が終わり、とうとう現役引退となった。あつという間の三年半だった。これからはゆっくり休日を過ごそうと思う。たまにシシガワへ行ってビデオ撮影をして手伝

いもしていこうかと思えます。

雑感

五年 北村 健二

引退して一年三ヶ月が経った。引退して現役時代の生活とは一変した。引退して恐らく一度も艇に乗っていない。部活に全然貢献しなくて申し訳なく思いながらも、引退後は自分の好きなことをやっている。引退して始めた一つがゴルフである。元々父親や兄、おじもゴルフをしており自分も本格的にやりたいとずっと思っていた。始めたころは意外とうまく当たったりしていたがフォームがぐちゃぐちゃで手の力でふっていたのでなかなかうまくならなかった。初心者がテキストウにやってもうまく行く訳もなく何事も基本が大切だと思い知らされ、レッスンに通うことにした。レッスンに通うようになってからは徐々に基本を覚えて少しずつ良くなっていった。しかし、ゴルフは難しいものでちよつと余計な動きが加わるだけで全くうまくいかなくなり、なかなかそれを修正するのに難渋する。力が入りすぎるとうまくボールを捉えられないし、もし捉えられたとしても思った通りには飛ばない。今はそんなことを繰り返しながら少しずつ自分の型を作っているところである。

いつも思うことだが何かボートに似ている所があると思う。必要なときに必要な場所に力を入れるのが重要であり、一見簡単そうに見えるが非常に難しい。それを根気強く練習し、しっかりと正しいフォームに修正することが非常に大切である。ボートは大学までしかなかなかできないスポーツである。四年生以下は今大変きついと思うが根気強く頑張つてほしい。その一つ一つの積み重ねが自分の力となり、自信となり自分の実力につながり、最終的には結果につながる。もし結果につながらなくても、根気強く頑張ることが引退後の自分の大きな力となってくれると思う。まだまだボート部は可能性を秘めていると思うし、クルーの気持ちが一つでそれをみんなで支えればどこまでも上を目指せると思う。

自分はいいたことができなかったのでこんなこと言う権利はないが、ないんとなく読み流してくれられたらと思います。

雑感「はしる」

五年 中原 知之

部活を引退して一年が経った。

気がつけば、おなかまわりがポニョポニョしてきている。心なしか体が重く、体力も無くなつてきているようだ。

このままではいかんと、ある日走つてみた。以前のよう
に軽快には走れず、少し走つては歩き、走つては歩きを繰
り返した。

そんな感じなことを続けていると、ふと徐々に走れる距
離が長くなっていることに気づく。走ることに余裕が生ま
れてくると、周りの景色がだんだんと見え始めてくる。普
段バイクで素通りしている時には気づかない景色に気付
き、楽しくなってくる。体力や足がしっかりとしてくると、
走る距離も伸び、景色も広がってきてさらに楽しくなつて
くる。

走り終わると適度に疲れていて気持ちがいい。その一日、
特にすごいことを成し遂げていなくても、走つたという事
実がなんだか自分を肯定してくれる。なんだが毎日がうま
く回っていきそうな気がする。

「走る」を続けてみよう。

雑感

五年 東 祥嗣

ボート部を引退して一年が過ぎました。最近は朝七時
に起床するだけでも苦痛で、四時半に起きるなんて考えら
れなくなっています。たまにバイクでししがわの前を通る
とボートを漕いでいるのが見えて、とても懐かしく感じま

す。現役時代はいつもイライラしていたのに、引退するとこんなにボートが面白そうにみえるのか…と毎回感じています。

自分は現在ポリクリの真つ最中で、やっと半分終わりました。病院では色々な先生にお世話になり、時々OBの先生に会うと心が和みます。消化器内科では市川先生、二外科では黒木先生にお世話になりました。毎回思うのですが、ボート部のOBの先生つていいですよ。親切で頼りになる先生方が大好きです。自分もあんな先生になりたいな、といつも思います。しかし、いろんな科をまわると、先生方に「何部か？」と聞かれ、「ボート部です。」という、「あ、スカ○口部か」といわれることがあります。原研内科などで…。ス○ト口はあんまり好きじゃないのになあと思いつつ、先輩方の学生時代の生活を勝手に想像しています。

相変わらず意味のない文章ですが、今までよりは長いのでこれでよしとします。ポリクリ後半はもう少しがんばろーと。

雑感

五年 藤田 拓郎

気がつけばもう五年生になっていました。入部当時、何

が面白いのかよくわからなかったボートも、なんだかんだで五年の夏まで続けてしまいました。そして神様の悪戯か、十六年ぶりの優勝にも立ち合わせていただきました。自分達の代で優勝できなかった悔しさは、やはりありましたが、後輩たちがやってくれたことに素直に感動した熱い夏でした。

話は変わって私事ですが、今年の三月からバスケット部の人手不足のために、助っ人（らしいことは何もしておりませんが）としてバスケット部にも参加させていただきました。兼部みたいなことをすると、ボート部を客観的に見ることができません。まあ、わかつてたことでしたが、ボート部、ヤバイっすね、ほぼ毎日部活して、朝も夕方もなんて、本当、ボート部くらいっす。バスケット部も頑張ってますが（↑なぜか上から目線？）せいぜい週三です。一回あたりの練習時間は長いかな、でも土日の二部練に比べれば短いかなと思います。それくらいやつても必ずしも勝てるわけじゃないって勝負の世界ってホント厳しいなって思います。偉大な先人は、努力したからといって必ずしも成功するわけではないが、成功している人は、みな努力しているとおっしゃっていました。そして何よりもボート部の誇るべきところは、ボート部の面子（仲間）、よくここまで集めたなと思うくらいに、愛すべき人たちがいっぱいだと思います。

さてさて私事ですが昨年より始めているジョギングの習

慣、今年も長崎のベイサイドマラソンを走りました。昨年ほど体力的な充実は感じれなかつたので、とりあえず完走が目的で走ってきました。そしたら意外や意外、自己記録を五〇秒ほど縮めることが出来ました。毛沢東の言葉だと思いますが、物をなし遂げる三つの条件は、若いこと、貧乏であること、あとは無名であることと言っていた気がします。若いかどうかはおいというて、一応まだ何かを成し遂げる条件を満たしている今日この頃、私も更なる高みを目指して色々な面でまだまだ頑張らねばと思っています。

さらに私事ですが、最近、中学、高校の同級生の結婚式のお誘いのお葉書きがよくきます。おめでたいことなので、「出席させていただきます」と返事させていただいておりましたが、手ぶらで行くわけにもいかず、ご祝儀を包まないといけません。昔から偶数は割り切れるから縁起が悪いとか何とか言われちゃうせいで、三万とか包んでしまいます。よく考えると結構痛い出費です（よく考えなくても）。しかも、結婚する友人は、福岡で歯医者してたり、長崎で内科してたり、幼稚園の事務長してたりと、学生の僕から、ご祝儀をいただくような方々ではありません。でもどうしてでしょう、結婚式に呼ばれるって何だかうれしいものですね。皆さんの結婚式にもぜひ呼んでいただけると嬉しいです。もちろん二次会からのお誘いも快く承ります。

さてこの雑感を書いている十一月十七日（締め切りは過ぎています…）は獅子座流星群が見所でした。ちょうど、空を

見上げれば、流れ星が…。もちろん、我等がボート部の西医体二連覇、インカレ上位進出、そして私事ですが将来の伴侶との運命的な出会いを、星が流れる一瞬に祈っておきました。テケテケテケテケ：

「棚ぼた万歳」

五年 松浪 周平

実際にその立場じゃないと分からないことは
往々にしてあると思う

実際に一人暮らししてみないと

母親の苦勞は分からない

実際に病氣してみないと

患者さんの気持ちは分からない

優勝して

周りは凄い喜んだらうけど

漕いでる本人達の喜びは

その何倍もデカイんだらう

長くシーズンを一緒に漕いできたクルーと

味わう勝利の喜び

それだけが心残りです

と、去年部誌係で締め切りどころ言ってた立場だった

のに締め切り過ぎてコレ書いてるっていう

雑感

六年 岩津 伸一

六年間なんて、本当にあつという間。ついこの間入部宣言したような…。年寄りくさいことを述べてしまいました。が、本当にそう思います。大学生活も残すところあと四ヶ月程ですが、この場を借りて…、僕を勧誘し、入部後は指導し、面倒を見てくださった先輩方、色々と支援して下さったOBの先生方、ポート部でよかったです。後輩のみんなもがんばって。悔いの残らないように。

雑感 ……学生時代に彼女の生理が止まったら…

六年 上木 智博

腹くくつてください。相談があれば上木まで。連絡先は「漕魂」の巻末を参照。

七月に子供が生まれました。自分の子供が生まれて一番強く感じたのは「自分の親への感謝」でした。

確かに、これまでも親元を離れてはるばる長崎で勉強させていただいている時点で感謝はしていました。しかし、

自分の親も自分に対してしてくれたであろう苦勞を今まさに自分がするようになって、親の気持ちが身に染みてわかるようになりました。

さて、今年の西医体では「OBの応援はいらない」的なことを言ってしまった、自分も含め周囲の人から怒られた現役部員がいましたが、それはある意味仕方がなかったのかもしれない。試合前のプレッシャーで気持ちが変になっていたのも原因かもしれませんが、現役を退いた人たちがどんな願いや気持ちで応援に来ているか本当の意味で実感できていなかったのでしょうか。それにしてもあの時は自分は怒りすぎたのではないかと反省しています。

ここで、最近の素敵なエピソードの紹介です。

私は先日、OBの山本先生から先生のお子さんが子供のころ使っていたという絵本やおもちゃをいただきました。それをいただいた際、先生から「この中には丹羽先生の奥さんからいただいたものも入っている」という話を聴きました。ポート部の先輩後輩のつながりの強さを痛感した瞬間でした。卒業して実際に働き出せば今以上にポート部の縦のつながりのありがたさを実感するんだろうなあと 생각합니다。

話はそれでしたが、今年は西医体で久々の優勝を飾っていただき、本当にありがとうございます。

最高の出産祝いでした。

最後に、西医体の優勝祝賀会の際に、井上先生のあい

さつで「ボート部のおかげで、離れ離れになった友人ともまた会える。」といった旨のことをおっしゃっていました。自分はもう卒業しますが、これからもいい成績をたくさん残して、自分を含めOBの先生方を長崎に集結させる機会を量産してください。ボート部繁栄のため新入生の獲得も忘れずに!!

雑感

六年 大橋 和朗

「ついに」なってしまいましたよ六年生。

国試ですよ。

卒業ですよ。

最後の雑感何書こうかな。

いえ、何も書きません。

提出期限を過ぎているからではなく、全てはこの心の中にあるからです。

うん、一つ：

一緒に入学して同じボート部に入った五人の仲間達へ。

共に笑い、共に泣き、共に闘い、時に敗れながらも同じ釜の飯を喰らった時間はかけがえのないものでした。

ありがとう。

雑感

六年 三反田拓志

六年間を振り返って

とうとう六年生になった。やらないといけないことが増えてくると、時間が経つのは早い。

去年やその前の年、先輩方がどんな気持ちで六年生という時間を過ごしていたのが少しわかるような気がしてうれしい反面、もうすぐで学生生活ともおさらばという寂しさもある。

思えばこれまでいろいろとあったものだ。

入学したてのころは毎日、勧誘の電話が掛かってきた。

それはいつも決まって、当時勧誘隊長の小松さんで、「今何してんの？」というのが決まり文句だった。

行動をチェックされていた。最終的にこっちが折れた。

軟式テニスに入ろうかギリギリまで迷っていたが、向こうは勧誘は一度きりだった。

後日聞くとところによると、勧誘隊長が他の部にボート部に入りそうと触れ回っていたらしい。入るべくして入った訳だ。

そして忘れもしない六月二八日の昼。路地から飛び出したタクシーにはねられ、開放骨折。

新人戦を横目に、会場の運営を手伝っていた西医体。

大会の後の孤独感といったら、今思い出しても黒歴史とい

う他ない。

二年生ではシングルスカルをやり出した。一つ学年が上の古賀さんと毎日片上まで練習しに行った。

当時古賀さんは時津に居を構えており、当然こちらから出向くことになる。朝三時半に起きては原付で時津まで行っていた。

流石に、あの時は疲れ果てて、練習後に原付を止めていた時津の浜勝の駐車場で寝たり、意識が戻ったら何故か授業を受けていたなどというのが日常だった。

解剖もあって、心が折れたのも今は懐かしい。

当時同じくボート部を辞めたがっていた古賀さんと一緒に辞めるつもりだったが、古賀さんが幹部学年になった瞬間に全てがパーになった。

三年でコックスになる。

一番喜怒哀楽の起伏あった一年間だった。本格的にクルーでやった初めてのシーズンだったので、遅まきながら団体競技の楽しさを実感できた。

人間的にも成長の年だったと思う。

四年、幹部。一番難しいポジション。やれば分かるこの大変さ。

五年生ではまさかのコックス。

引退してからのプランが全て紙くずと化した瞬間であった。

仕方がないので、コックスとしてローヤーの意見に耳を

……全く貸さず、やりたいようにやりました。

試験休みも取り上げたし、練習も増やした。チートもし放題で、寝坊しても何も言われなかった。

辞める奴がいたらお互い血だるまになるつもりだったし、優勝できなかったら全て自分の責任だと思っていたから後悔のないようにいたぶ：ではなく頑張った。

結果的に新人戦優勝できたのはほっとしたし、嬉しかった。きつとローヤー達はボート部を牽引する存在になるとだろう。

最近是国家試験の勉強のため、勉強部屋に缶詰になりながら心の赴くままに部室に言っただけの勉強のためのビールをくすねたり、筋トレしたり、県立体育館でクライミングの練習したりしてる。

相変わらずやりたい放題やっています。昔からやりたい放題なのは自覚しているが、六年たつても変わらない。心の広い先輩方に育ててもらったお陰です。

それに、ボート部に入ってから人付き合いを通していろいろな世界を見せてもらった。

ボート部で良かったと思う。

後輩諸兄達も学年が上になって分かることもたくさんあると思うので、めげずに頑張ってください。

2009年度OB総会議題一覧

- 1 司会開会
- 2 新OB会員紹介
- 3 OB会会計報告
- 4 顧問教官報告
- 5 平成21年度 長崎大学医学部漕艇部活動報告
- 6 コーチ就任について
- 7 平成22年度 長崎大学医学部漕艇部活動予定報告

平成 22 年度 長崎大学医学部漕艇部OB会 収支報告

H22.2.15 ~ H23.2.14

| 収 入 | | 備 考 |
|------|-----------|--|
| 前期繰越 | 734,253 | |
| 会 費 | 3,640,000 | 40,000×6名(H20) 40,000×27名(H21) 20,000×1名(H22前期) 40,000×55名(H22) 50,000×2名(H22) |
| 寄 付 | 213,639 | |
| 利 息 | 203 | |
| 合 計 | 4,588,095 | |

| 支 出 | | |
|--------------|-----------|------------------|
| 西医体遠征費 | 1,100,000 | 西医体エントリー費等 |
| 九朝レガッタ遠征費 | 180,000 | 九朝エントリー費等 |
| 九州・山口大会遠征費 | 150,000 | 九山エントリー費等 |
| インカレ遠征費 | 200,000 | インカレエントリー費等 |
| 関西朝日レガッタ遠征費 | 100,000 | 関西朝日エントリー費等 |
| 関西選手権遠征費 | 50,000 | 関西選手権エントリー費等 |
| 部誌経費 | 170,625 | (平成21年度発刊分 第31号) |
| 新入生勧誘費・追コン費 | 300,000 | |
| 艇等運搬費 | 5,000 | |
| ボート協会登録費 | 77,000 | 県ボート協会 |
| モーターボート免許取得費 | 30,000 | |
| スピードコーチ代 | 348,000 | |
| 通信費 | 11,245 | 切手、はがき、封筒、送金料 |
| 会費手数料 | 16,450 | |
| 弔花代 | 41,500 | 永山雄二先生ご母堂様、村山晋先生 |
| 次期繰越 | 1,808,275 | |
| 合 計 | 4,588,095 | |

| 会 費 納 入 人 数 | |
|-------------|-----|
| 平成17年度 | 53名 |
| 平成18年度 | 50名 |
| 平成19年度 | 55名 |
| 平成20年度 | 59名 |
| 平成21年度 | 75名 |
| 平成22年度 | 60名 |

長崎大学医学部漕艇部OB会会則

第一条 本会は長崎大学医学部漕艇部OB会と称する。

第二条 本会の事務所は、長崎大学医学部漕艇部に置く。

第三条 本会の目的は、漕艇部の円滑な運営の為に、精神的、物理的な援助を行い、あわせて部員の身体の練成ならびに陶冶を図り、会員相互の親睦をはかるものである。

第四条 本会は、漕艇部のOBからなる一般会員ならびに本会の主旨に賛同する賛助会員をもって組織する。

第五条 本会に下記の役員を置く。

(1) 会長 一名

(2) 副会長 二名

(3) 顧問 若干名

(4) 総務 若干名

(5) 会計監査 一名

第六条 会長、副会長、総務、会計監査はOB会にて互選し、顧問は、会長が委嘱する。

第七条 役員の任期は、一年とする。ただし、再選は妨げない。

第八条 漕艇部顧問教官は、OB会に出席し、部の事情を説明しなければならない。

第九条 総会は、年に一度これを開くものとする。

第十条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入をもつて当てる。

第十一条 本会の経費は、一般会員より徴収し、会費は年度ごとに総会において決定する。

第十二条 本会の会計年度は、毎年四月一日より始まり翌年三月三十一日に終わる。

第十三条 本会の予算、決算は、総会の承認を得なければならぬ。

第十四条 本会には下記の帳簿を備える。

(1) 会則

(2) 会員名簿

(3) 会計簿

第十五条 会則の変更は、総会の承認を得なければならぬ。

付 則

この会則は、昭和五十四年度四月一日から施行する。

(昭和五十五年三月二十二日改正)

長崎大学医学部漕艇部OB会会員名簿

| 氏名 | 勤務先 | | 勤務先住所 | | 勤務先電話番号 | | E-mail address 1 | E-mail address 2 | 医局 卒業年度 |
|----------|----------------------|--|------------------------------|--------|---------|--|--|------------------|---------------|
| | 自宅 | 自宅住所 | 自宅住所 | 自宅電話番号 | | | | | |
| 1 長西 靖 | 731-5125 731-5125 | 長西耳鼻咽喉科医院:広島市佐伯区五日市駅前町1-11-37 広島市佐伯区五日市駅前町1-4-5-811 | 082-923-8122 082-923-5839 | | | | | | S46 |
| 2 冬野 誠三 | 847-0844 847-0844 | なばたけ冬野クリニック:唐津市菜畑3660-1 唐津市菜畑4208-57 | 0955-75-2220 0955-74-7378 | | | | Nabatake@star.saganet.ne.jp fuyuno@matsuronet.co.jp | | S48 |
| 3 松本 恵一良 | 847-0846 592-0003 | 松本内科クリニック:堺市鳳西町1丁-92-2 大阪府高石市東羽衣4-5-4 | 072-264-0588 072-264-8828 | | | | kema@violet.plala.or.jp | | S49 |
| 4 峰 雅宣 | 854-0034 847-0849 | 諫早市小野町332菅整形外科病院 長崎市柳谷町4-13 | 0957-23-2388 095-847-6031 | | | | | | 第1内科 S49 |
| 5 朝戸 末男 | 891-9112 891-9112 | 朝戸医院:鹿児島県大島郡和泊町和泊14 鹿児島県大島郡和泊町和泊16 | 0997-92-1131 0997-92-2280 | | | | sasato@nisiq.net | | S50 |
| 6 内田 隆寿 | 859-4825 857-0135 | 青州会病院:長崎県北松浦郡田平町山内免612-4 長崎県佐世保市瀬戸口11-30 | 0950-57-2155 | | | | | | 第2外科 S50 |
| 7 桜井 一枝 | 720-0822 721-0952 | みつふじ小児科:福山市川口町2-22-11 広島県福山市曙町5丁目24-38 | 084-953-0307 084-954-4454 | | | | mitsufulji@fukuyama.hiroshimamed.or.jp | | 小児科 S50 |
| 8 瀬戸 信二 | 852-8501 852-8052 | 井上病院:長崎市宝町6-12 長崎市岩屋町17-2 | 095-849-7288 095-857-1808 | | | | s-seto@nagasaki-u.ac.jp | | 第3内科 S50 |
| 9 早田 篤 | 850-0031 847-0859 | 長崎市役所中央保健センター 長崎市立岩町77-10 | 095-829-1154 095-862-5622 | | | | | | 小児科 S50 |
| 10 田川 泰 | 852-8520 851-2128 | 長崎大学医薬総合研究科保健学科専攻 長崎県西彼杵郡長与町埴里郷98-12 | 095-819-7000 095-887-1391 | | | | tagawa@net.nagasaki-u.ac.jp | | 第1外科 S50 |
| 11 富海 五郎 | 790-0903 | 松山記念病院精神科 愛媛県松山市東野1丁目6-15 | 089-977-1812 | | | | | | 愛媛大精神科 S50 |
| 12 中野 文耕 | 853-2301 853-2301 | 新上五島町立若松診療所:長崎県南松浦郡新上五島町若松郷281 長崎県南松浦郡新上五島町若松郷281 | 0959-46-3315 0959-46-3318 | | | | | | 第2外科 S50 |
| 13 丹羽 正美 | 852-8523 852-8052 | 長崎大学医学部第1薬理学教室:長崎市坂本1-12-4 長崎県長崎市岩屋町20-29-1001 | 095-819-7041 095-883-6395 | | | | niwa@net.nagasaki-u.ac.jp | | 第1薬理 S50 |
| 14 馬渡 一雄 | 850-0001 850-0001 | まわたり内科医院:長崎市西山2丁目9-2 長崎市西山2丁目9-2まわたり内科 | 095-822-0101 095-822-0101 | | | | | | 第3内科 S50 |
| 15 石川 治 | 670-0936 670-0936 | 石川医院:姫路市古二階町135 姫路市古二階町12 | 0792-23-3270 0792-23-1307 | | | | | | 岡山大外科 S52 |
| 16 川口 昭男 | 850-0045 852-8046 | 井上病院:長崎市宝町6-12 長崎市柳谷町14-27 | 095-844-1281 095-847-5529 | | | | | | 第1外科 S52 |

| | | | | | | |
|----|--------|----------------------|--|------------------------------|---|--------------------|
| 17 | 神田 源太 | 854-0301 850-0003 | 愛野記念病院(非常勤): 雲仙市愛野町甲3838-1 長崎市片淵1丁目12-7 | 0957-36-0015 095-822-7051 | | 皮膚科 S52 |
| 18 | 田中 精一 | 193-0832 193-0811 | 南多摩病院: 東京都八王子市散田町3-10-1 東京都八王子市上巻分方町246-1 | 042-663-0111 042-651-7640 | s-tanaka@xa2.so-net.ne.jp | 女子医大消化器センター S52 |
| 19 | 堤 健二 | 833-0054 839-0863 | つつみ脳神経外科クリニック: 福岡県筑後市大地蔵敷642-7 久留米市国分町1121-9 アパルテイング園分B-1 | 0942-42-1155 0942-22-3272 | k-tutumi@mx2.tiki.ne.jp | 脳外科 S52 |
| 20 | 吉良 満夫 | 852-8008 847-0881 | 長崎市曙町3-6 浜崎外科病院 | 095-861-6034 | kira@mx2.ocn.ne.jp | 第2外科 S54 |
| 21 | 出口 正巳 | 530-0001 659-0012 | 大阪府大阪市北区梅田2-4-37 西梅田上島ビル5階医療法人正祥会カリアスクリニ 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町17-46 | 06-4797-4000 0797-38-8077 | | 形成外科 S54 |
| 22 | 井上 健一郎 | 850-0045 852-8102 | 井上病院: 長崎市宝町6-12 長崎市坂本1-2-5 | 095-844-1281 095-846-2218 | ken-inoue@shunkaikai.jp | 第2内科 S55 |
| | 小村三代治 | | ～逝去～ | | | S55 |
| 23 | 江口 圭介 | 857-0962 857-0015 | 江口内科スリージョンクリニック: 佐世保市白南風町1-13 JF九州佐世保ビル20 佐世保市松山町5-38 | 0956-20-1178 0956-22-2224 | dreguch@hyperc.ocn.ne.jp | 第3内科 S55 |
| 24 | 成松 元治 | 811-0117 811-0117 | 福岡県糟屋郡新宮町上府太郎丸675 (医法)成松循環器科医院 福岡県糟屋郡新宮町上府1266-1-906 | 092-962-0022 | | 心臓血管外科 S55 |
| 25 | 水谷 明正 | 847-0890 850-0963 | 長崎記念病院: 長崎市梁堀町1-11-54 長崎市ダイヤランド1-36-19 | 095-871-1515 095-878-3807 | akimac@momo.so-net.ne.jp | 第2外科 S55 |
| 26 | 小倉 猛 | 866-8533 | 熊本労災病院: 熊本県八代市竹原町1670 熊本市画図町重富744-13 | 0965-33-4151 096-379-7592 | tooura@sky.plala.or.jp | 形成外科 S56 |
| 27 | 谷川 宗生 | 847-0894 851-2127 | 長崎北病院: 長崎県西彼杵郡時津町元村郷800番地 西彼杵郡長与町高田郷1196-122 | 095-886-8700 095-883-4030 | | 第3内科 S56 |
| 28 | 難波 裕幸 | 850-0921 851-2127 | 長崎市松が枝町3番20号: 医療法人春秋会 南長崎クリニック 長崎県西彼杵郡長与町高田郷858-103 | 095-827-3606 | namba@synivv-kai.or.jp | 原研細胞 S56 |
| 29 | 前原 洋二 | 835-0024 847-0899 | 森整形外科: 福岡県三山市瀬高町大字下庄590 福岡県久留米市津福本町786-6 グラソビアマンション津福1001 | 0944-63-2040 0942-37-5038 | stadym@polka.plala.or.jp | S56 |
| 30 | 村山 晋 | 870-0044 | 大分県大分市舞鶴町2-9-17-1001 | 097-533-8131 | stellamurayama@carol.ocn.ne.jp | 三重大第1内科 S56 |
| 31 | 山近 史郎 | 850-0045 850-0804 | 特別医療法人善回会 井上病院内科・循環器科 長崎市宝町6-12 長崎市参見町18-4 | 095-844-1281 095-825-3580 | yamachika@shunkaikai.jp shiyama@mx.ocn.ne.jp | 第3内科 S57 |
| 32 | 岡田 代吉 | 807-0743 807-0846 | おかだ外科胃腸クリニック: 北九州市八幡西区三ヶ森4-9-24-202 北九州市八幡西区里中1丁目8-22 | 093-613-7188 093-613-3732 | | S58 |

| | | | | | | |
|----|-------|----------------------|---|------------------------------|--|--------------------|
| 33 | 倉富 彰秀 | 842-0002 842-0002 | 医療法人 輝秀会・佐賀県神埼市神埼町田道ケ里2435-1 佐賀県神埼市神埼町田道ケ里2435-1 | 0952-52-8841 | soarer1956@w4.dion.ne.jp treasurehunteraki@yahoo.co.jp | S58 |
| 34 | 末永 俊郎 | 801-0852 801-0852 | 末永産婦人科麻酔科:北九州市門司区港町6-15 北九州市門司区港町6-15 | 093-321-2453 093-322-1751 | suetoshi@kk.jifu.or.jp | S58 |
| 35 | 中崎 隆行 | 852-8104 852-8102 | 長崎原爆病院:長崎市茂里町3-15 長崎市坂本2-18-15 | 095-847-1511 095-842-2391 | nakazaki@topaz.ocn.ne.jp | 第1外科 S58 |
| 36 | 永見 耕一 | 758-0025 758-0025 | 永見眼科医院:山口県萩市土原351 山口県萩市土原351 | 0838-22-0720 | nagami@haginete.jp | S58 |
| 37 | 永山 雄二 | 852-8523 852-8156 | 長崎大学医学部原研分子教室:長崎市坂本1丁目12-4 長崎市赤迫3-1-4-1-501 | 095-819-7173 095-856-5433 | nagayama@nagasaki-u.ac.jp | 第1薬理 S58 |
| 38 | 松永 伸彦 | 854-0072 854-0086 | まつなが眼科:諫早市永昌町43-1 長崎県諫早市堀の内町23-2 | 0957-25-8866 0957-27-1333 | matsuo@moocha.ocn.ne.jp | S58 |
| | 松尾 圭一 | | ～逝去～ | | | S58 |
| | 今里 雅之 | | ～逝去～ | | | 女子医大消化器センター S59 |
| 39 | 小林 誠博 | 803-0831 805-0016 | 北九州市小倉北区日明(ひあがり)4丁目6-28 小林外科医院 北九州市八幡東区高見2丁目10番1-601 | 093-561-6353 093-651-8786 | qq2r9xwn9@vega.ocn.ne.jp | 第1外科 S59 |
| 40 | 平野 友久 | 850-0953 850-0963 | 上戸町病院:長崎市上戸町4-2-40 長崎市ダイヤランド3-28-6 | 095-879-0705 095-878-8913 | hirano@kenyukai.or.jp | S59 |
| 41 | 糸柳 則昭 | 850-0842 851-2130 | 糸柳プラスチック ニック 長崎市新地町1-5 MMCEビル4階 西彼姓郡長与町まなひ野2-18-2 | 095-832-7000 095-887-4927 | itoyanagi@nifty.com | 第1外科 S60 |
| 42 | 日高 真 | 300-1152 300-1245 | 茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2032-272.らんぐリニック 茨城県つくば市高崎692-5 | 029-875-5686 029-873-3382 | hidaka.sin@maroon.plala.or.jp hidaka.sin@silk.plala.or.jp | 筑波大精神科 S60 |
| 43 | 松岡 直樹 | 850-0832 850-0037 | 長崎内科リウマチ科病院:長崎市油屋町1-21 長崎市金屋町9-9-1301 | 095-822-3151 095-829-4077 | nmatuoka-nag@nagasaki.met.or.jp | 第1内科 S60 |
| 44 | 矢次 登 | 810-0052 | 福岡市中央区大濠1-10-24-601 | 092-762-5352 | | 整形外科 S60 |
| 45 | 高須 勝也 | 851-2126 859-0407 | 常葉会 長与病院:長崎県西彼姓郡長与町吉無田郷647 諫早市多良見町シーサイド20-133 | 095-883-6668 0957-43-2654 | | 第2外科 S61 |
| 46 | 中里 貴浩 | 811-2232 811-2103 | 栄光病院消化器内科:福岡県糟屋郡志免町別府西3-8-15 栄光病院消化器内科:福岡県糟屋郡宇美町四王寺坂3-19-5 | 092-935-0147 092-934-3648 | nakazato@ymt.biq.jp tnakazato@eikoh.or.jp | 内科 S61 |
| 47 | 中山 大介 | 850-0003 850-0048 | 長崎市片淵2丁目5番1号 長崎県上鏡座町12-2 | 095-826-9236 095-848-4575 | | 産婦人科 S61 |

| | | | | | | |
|----|-------|----------------------|---|-------------------------------|--|------------------|
| 48 | 青木 幹弘 | 856-8562 | 国立病院機構長崎医療センター:長崎県大村市久原2丁目1001-1 | 0957-52-3121 0957-50-0956 | aoki@mhc.hosp.go.jp | 小児科 S62 |
| 49 | 石井 久敬 | 814-0001 | 福岡市早良区百道浜4-17-9 | | | 福岡大学精神神経科 S63 |
| 50 | 岡野 邦彦 | 852-8102 852-8117 | 国立病院機構長崎医療センター:長崎県大村市久原2丁目1001-1 長崎市平野町14-13セントヒルズ平野102号 | 095-819-7321 | kuni@net.nagasaki-u.ac.jp | 整形外科 S63 |
| 51 | 朝長 道生 | 843-0301 843-0301 | 朝長医院:佐賀県埴野市埴野町大字下宿乙2188 佐賀県埴野市埴野町大字下宿乙2191 | 0954-43-2117 0954-43-2132 | tomonaga1962@gmail.com | 第2内科 S63 |
| 52 | 中島 寅彦 | 812-8582 814-0113 | 九州大学医学部耳鼻咽喉科:福岡市東区馬出3-1-1 福岡市城南区田島6-2-24 | 092-642-5668 092-871-5238 | | 九大耳鼻科 S63 |
| 53 | 天野 秀明 | 852-8055 852-8027 | 虹ヶ丘病院 呼吸器科:長崎県長崎市虹ヶ丘町1-1 長崎市城山台2丁目30-3 | 095-856-1112 095-864-1101 | foatnngympl@vbb.ne.jp chinu@ceres.dti.ne.jp | 呼吸器科 H1 |
| 54 | 金色 正広 | 805-8534 805-0061 | 北九州市立八幡病院麻酔科:北九州市八幡東区西本町4-18-1 北九州市八幡東区西本町4丁目15-23-705 | 093-662-6565 093-663-3055 | kanairo@mars.dti.ne.jp | 麻酔科 H1 |
| 55 | 吉川 公正 | 807-8555 808-0016 | 産業医科大学病院:北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1 北九州市若松区原町9-6 | 093-603-1611 093-751-6528 | obcd47591@pop06.odn.ne.jp | 脳外科 H1 |
| 56 | 旭 隆宏 | 811-3414 811-4163 | 福岡県宗像市光岡5番1号:あさひ小児科クリニック 福岡県宗像市自由ヶ丘1-9-7 | 0940-34-8555 0940-33-1492 | asahi-clinic@orange.plala.or.jp | 九大小児科 H2 |
| 57 | 白藤 智之 | 852-8125 852-8151 | 聖フランシスコ病院:長崎市小峰町9-20 長崎市泉1-3-4 | 095-846-1888 095-848-0191 | shirahuji@hotmail.com | 第1外科 H2 |
| 58 | 寺尾 保信 | 113-8677 108-0074 | 東京都立駒込病院:文京区本駒込3-18-22 東京都港区高輪3-16-8-206 | 03-3823-2101 03-3443-5034 | y.terao@cicik.jp | 慈恵大形成外科 H2 |
| 59 | 中村 晋 | 813-0042 813-0031 | 中村内科医院:福岡市東区舞松原1丁目1-6-18 福岡市東区八田2丁目1-52 ヲエルズ香椎南413 | 092-681-7363 092-662-4414 | yvo-n@n.jiji4u.or.jp | 九大第2内科 H2 |
| 60 | 山本 太郎 | 852-8523 853-8102 | 長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野:長崎市坂本1-12-4 長崎市坂本1-11-15-12 | 095-819-7869 090-7462-6959 | y-taro@nagasaki-u.ac.jp | 熱研社環境 H2 |
| 61 | 生田 安司 | 870-8511 843-0301 | 大分県立病院:大分市大字豊饒46番地 大分市新春日町1-4-27 301号 | 097-546-0725 097-547-7973 | ikurata@oitakenbo.jp | 第一外科 H3 |
| 62 | 市川 辰樹 | 852-8501 | 長崎大学病院消化器内科:坂本1-7-1 | 095-819-7267 | ichikawa@net.nagasaki-u.ac.jp | 第1内科 H3 |
| 63 | 鈴木 康弘 | | | | | 熊大第2内科 H3 |
| 64 | 田中 邦彦 | 852-8523 852-8035 | 長崎大学医学部第一薬理:長崎市坂本1丁目12-4 長崎市油木町52-93-413 | 095-819-7043 095-845-8355 | kunnv-ta@net.nagasaki-u.ac.jp | 第一薬理 H3 |

| | | | | | | | |
|----|-------|----------------------|---|-------------------------------|---|----------------|---------------|
| 65 | 山本 修 | 850-0004 880-0015 | 山本外科医院:長崎県長崎市下西山町1-5-1F 長崎市矢ノ平二丁目2-23 | 095-823-8585 095-824-4600 | | | 第2外科 H3 |
| 66 | 劉 中誠 | 857-0071 851-0137 | 健康保険諫早総合病院:長崎市諫早市永昌町24-1 長崎市高城台2丁目11-35 | 0957-22-1380 095-839-2112 | crvu@hospital-isahavasourou.jp crvu@rudy.ocn.ne.jp | | 第1外科 H3 |
| 67 | 黒木 保 | 852-8102 852-8501 | 長崎大学移植消化器外科:長崎市坂本1丁目7-1 長崎市小江原4-18-3 | 095-819-7316 | tkuroki-g@umin.ac.jp | | 第2外科 H4 |
| 68 | 佐藤 俊一 | 380-8582 380-0803 | 長野赤十字病院神経内科:長野市若里5丁目22-1 長野市三輪4-2-22 グラントハイツ三輪102号 | 026-226-4131 026-232-7970 | ssato@naeano-med.jrc.or.jp | | 信州大第3内科 H4 |
| 69 | 趙 成三 | 852-8101 852-8061 | 長崎大学病院神経内科:長崎市坂本1丁目7-1 長崎市滑石5丁目4-80-404 | 095-819-7370 095-856-3793 | chos@net.nagasaki-u.ac.jp | | 麻酔科 H4 |
| 70 | 津田 純 | 154-0014 105-0001 | 津田耳鼻咽喉科:東京都世田谷区新町3-20-1 ヲエルジエ桜新町206 東京都南区虎門 3-14-1 2804 | 03-5450-7237 050-5803-8152 | jun_ava_kaoru@nifty.com | | H4 |
| 71 | 中野 基 | 857-8511 857-0806 | 佐世保市平瀬町9-3佐世保市総合病院形成外科 佐世保市島瀬町3-27 グラントデュオ島瀬ビルズ1202号 | 0956-24-1515 0956-25-7087 | motoinakano@hotmail.com | | 形成外科 H4 |
| 72 | 福井 雅士 | 850-0045 852-8015 | 井上病院:長崎市宝町6-12 長崎市椿木町15-55 | 095-844-1281 090-2510-0473 | fukuimasashi@hotmail.com | | 形成外科 H4 |
| 73 | 南 蕙樹 | 852-8501 852-8108 | 長崎大学病院 移植・消化器外科 長崎市坂本1-7-1 長崎市川口町1-1-1213 | 0957-63-1145 095-814-7316 | shiminami-gi@umin.net | | 第2外科 H4 |
| 74 | 竹下 浩明 | 852-8501 852-8133 | 長大病院第一外科:長崎市坂本町7-1 長崎市 本原町19-8 | 095-819-7304 095-800-2696 | takehiro@nagasaki-u.ac.jp | | 第1外科 H5 |
| 75 | 近藤 新二 | 852-8521 850-0001 | 長崎市文教町1-14長崎大学薬学部薬物治療学 長崎市西山4丁目511-301 | 095-819-2448 095-844-7177 | kondos@nagasaki-u.ac.jp | | 形成外科 H6 |
| 76 | 斎藤 将隆 | 805-0012 805-0016 | 北九州市立八幡病院:福岡県北九州市八幡東区西本町4丁目18-1 福岡県北九州市八幡東区高見町1-2-25-209 | 093-662-6565 093-653-2246 | | | 麻酔科 H6 |
| 77 | 阪上 学 | 565-0871 | 大阪大学医学部付属病院 麻酔集中治療科:大阪府吹田市山田丘2-2 | 06-6879-3133 | sakaue@anes.med.osaka-u.ac.jp | | 大阪大麻酔科 H6 |
| 78 | 松尾 敏明 | 890-0007 890-0055 | ナカノ在宅医療クリニック:鹿児島市伊敷台6-27-10 鹿児島市上荒田町34-1ゾルミスト上荒田1001号 | 099-218-3300 080-5283-6203 | matsuo@nakanozaitaku.or.jp | | H6 |
| 79 | 岩井 敏郎 | 806-8501 814-0104 | 九州厚生年金病院:福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1 福岡市城南区別府7丁目5-35-1005 | 093-641-5111 092-821-7225 | | 九大心臓血管外科 H7 | |
| 80 | 宗 英吾 | 843-0393 | 嬉野市嬉野町大字下宿丙2436嬉野医療センター 長崎市今博多町35番地1001号 | 0954-43-1120 095-826-2472 | | 耳鼻科 H7 | |
| 81 | 中桶 了太 | 852-8501 852-8027 | 僻地医療再生支援教育機構:長崎市坂本1-7-1 長崎市城山台2-10-6 | 095-819-7773 090-7986-2728 | nakaake@net.nagasaki-u.ac.jp | | 第1薬理 H7 |

| | | | | | | |
|----|--------|----------------------|--|-------------------------------|--|----------------|
| 82 | 藤本 武士 | 857-8511 | 佐世保市立総合病院:長崎県佐世保市平瀬町9-3 | 0956-24-1515 | tfuimototo@hospital.taasawa.fukuoka.jp | 第1内科 H7 |
| 83 | 安田 恵多良 | 560-0021 560-0045 | やすだクリニック:大阪府豊中市本町2-4-28 大阪府豊中市刀根山6-2-5 | 06-6846-2222 06-6531-3133 | | 大阪大脳外科 H7 |
| 84 | 古賀 洋安 | 830-0011 | 久留米大学病院:久留米市旭町67番地 | 0942-35-3311 | coffee35@mx6.tiki.ne.jp | 久留米大小児科 H8 |
| 85 | 城田 利彦 | | | | hiroko@mx6.tiki.ne.jp toshishirota@hotmail.co.jp | 九大心臓血管外科 H8 |
| 86 | 関 徹 | 272-0813 140-0002 | 静和会中山病院千葉県:市川市中山2-10-2 東京都品川区東品川4-10-18-1507 | 047-334-3480 03-3450-3813 | tr-seki@sa2.so-net.ne.jp QWP07174@nifty.ne.jp | 東北大精神科 H8 |
| 87 | 武野 正義 | 852-8102 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科循環病態制御内科:長崎市坂本1丁目7-1 | 095-819-7288 | mtakeno@net.nagasaki-u.ac.jp | 第3内科 H8 |
| 88 | 福田 顕三 | 838-0141 830-0047 | 嶋田病院同医院外科:福岡県小郡市小郡217-1 福岡県久留米市津福本町6-47 | 0942-72-2236 0942-31-5715 | | 第2外科 H8 |
| 89 | 山里 昌司 | 825-8567 | 小波瀬病院:福岡県京都郡荏田町新津字1598 | 0930-24-5211 | | 第3内科 H8 |
| 90 | 岡 真一郎 | 8700857 | 大分共立病院:大分市明積四組 大分市青葉台1丁目1-5 | 097-543-1177 097-507-8947 | | 第2内科 H9 |
| 91 | 岡田 和一郎 | 440-8510 440-0033 | 豊橋市飯村町字高山11番地国立療養所豊橋医療センター 愛知県豊橋市東岩田4丁目5-1Aの301 | 0532-62-0301 090-1625-8528 | | 九大整形外科 H9 |
| 92 | 牟田口 滋 | 839-0801 839-0862 | 久留米市宮ノ陣3丁目3番8号 古賀病院21 久留米市野中町1185-1 アメニターハハイッ杏菜館202 | 0942-38-3333 0942-80-4633 | shienmata@hva.bida.jp | 形成外科 H9 |
| 93 | 大石 正雄 | 904-8585 904-2165 | 中部徳州会病院: 沖繩市照屋3-20-1 沖繩市宮里3-25-47-301 | 098-937-1110 098-927-7126 | moishi99@hotmail.com | 第2内科 H10 |
| 94 | 古賀 聖士 | 852-8501 | 長崎大学病院循環器内科 長崎市坂本1丁目4-5-207 | 095-819-7288 | kogasez@gmail.com | 第2内科 H10 |
| 95 | 崎元 暢 | 173-8610 108-0072 | 日本大学医学部眼科:板橋区大谷口上町30-1 港区白金2-7-17-1102 | 03-3972-8111 03-3443-3313 | torusaki@med.nihon-u.ac.jp toruotto@mwebiglobe.jp | 日大眼科 H10 |
| 96 | 山崎 励至 | 857-8511 857-0043 | 佐世保市立総合病院 佐世保市天満町2-9-301 | 0956-24-1515 | reishi@hospital.sasebo.nagasaki.jp | 原研内科 H10 |
| 97 | 高橋 優二 | 854-8501 | 長崎大学病院僻地病院再生支援教育機構 長崎市泉1-17-3 | 095-848-841 | yuihika@pop16.odn.ne.jp | H11 |
| 98 | 谷川 治 | 838-0068 | 朝倉健生病院:福岡県朝倉市甘木151-4 福岡市南区平和1-30-13 | 0946-22-5511 090-4584-1027 | os-tanikawa@a-kensei.jp | H11 |

| | | | | | | |
|-----|----------|---|---|-------------------------------|---|----------------|
| 99 | 牧野 淳 | Department of Medicine, Interfaith Medical Center 110-06 72nd Ave Apt 1A, Forest Hills, New York 11375 | | | junnakino@hotmail.co.jp | H11 |
| 100 | 宮崎 浩充 | 990-0044 | 山形市立済生会病院 仙台市青葉区上杉5-8-18-204 | 0236-25-5555 | hmivai104@yahoo.co.jp | 耳鼻科 H11 |
| | 山本 経之 | | 逝去 | | | |
| 101 | 吉野 俊平 | 820-8505 | 福岡飯塚病院:飯塚市芳雄町3-83 福岡県飯塚市川島1-7パークサイド立岩601 | 0948-22-3800 0948-23-8590 | syoshi26@aol.com | 飯塚病院 H11 |
| 102 | 澁谷 正樹 | 755-0067 | 済生会山口病院内科 | 083-901-6111 | bcbm-sby@asahi-net.or.jp | 山口大第2内科 H12 |
| 103 | 土井 晋平 | 不明 | 不明 | | | 神戸大第2内科 H12 |
| 104 | 福田 義文 | 651-2274 | 兵庫県立光風病院 神戸市西区竹の台4-21-5 | 078-581-1013 078-991-5883 | a807445@moco.ne.jp | H12 |
| 105 | 程野 茂樹 | 790-8524 799-3111 | 愛媛大学病院眼科 愛媛県伊予市下吾川676-1 | 089-964-5111 089-983-3504 | hodonno@d5.so-net.ne.jp | 愛媛大麻酔科 H12 |
| 106 | 松永 祥志 | 857-0056 | 佐世保市立総合病院麻酔科:佐世保市平瀬町9-3 | 0956-24-1515 | | 脳外科 H12 |
| 107 | 及川 将弘 | 852-8102 852-8135 | 長崎大学病院第一外科:長崎市坂本1-7-1 長崎市千歳町5-26 千トセビル南棟1003 | 095-819-7304 090-1167-8282 | oimasa@iris.dti.ne.jp | 麻酔科 H13 |
| 108 | 森 創 | 100-8916 | 2-2 千葉県船橋市葛飾町2-372 サニーウエスト西船橋404号 | 047-434-1246 | moiri-hajime@nhlw.go.jp neomoris@k2.dion.ne.jp | H13 |
| 109 | ウイ ケン ロン | 300-1296 300-1236 | 牛久愛和総合病院:茨城県牛久市猪子町896 茨城県牛久市田宮町137-144 201号室 | 029-873-3111 090-9409-8805 | | 心臓血管外科 H13 |
| 110 | 松本 周平 | 852-8102 852-8041 | 長崎大学病院麻酔科:長崎市坂本1-7-1 長崎市清水町9-23-506 | 095-819-7370 095-843-2336 | | H13 |
| 111 | 諸藤 陽一 | 856-8562 | 国立病院機構長崎医療センター:長崎県大村市久原2丁目1001-1 | 0975-62-3121 | | H13 |
| 112 | 蓬萊 彰士 | 856-8562 | 国立病院機構長崎医療センター:長崎県大村市久原2丁目1001-1 | 095-819-7041 090-1369-5720 | | 精神神経科 H14 |
| 113 | 青山 英和 | 755-8505 | 山口大学病院第二内科:宇都市南小串1-1-1 | 0836-22-2248 | | 山口大第2内科 H14 |
| 114 | 西條 知見 | 852-8502 852-8116 | 長崎大学病院第二内科:長崎市坂本1丁目7-1 長崎市平和町22-4 ビニール平和201号 | 095-819-7274 090-6890-8750 | t-saijo@umin.ac.jp | 第2内科 H14 |

| | | | | | | |
|-----|--------|----------------------|---|-------------------------------|------------------------------------|-------------|
| 115 | 高木 理博 | 591-8025 591-8025 | 近畿中央胸部疾患センター：大阪府堺市北区長曾根町1180番地 大阪府堺市北区長曾根町1180番地 RC-2-221 | 072-252-3021 072-259-5310 | rhaku1@mue.biglobe.ne.jp | 熱研内科 H14 |
| 116 | 田邊 孝大 | 130-0022 130-0022 | 都立墨東病院救命センター：東京都墨田区江東橋4丁目23-15 墨田区江東橋4丁目13-25 都立墨東病院医師公舎322号 | 03-3633-6155 090-9604-7079 | tanestnt@yahoo.co.jp | 麻酔科 H14 |
| 117 | 渡辺 庸平 | 980-8574 980-0011 | 東北大学病院小児科：仙台市青葉区星陵町1-1 仙台市青葉区上杉2-4-6-701 | 022-717-7744 | nabe-76@eagle.ocn.ne.jp | 小児科 H14 |
| 118 | 崎元 晋 | 565-0871 | 大阪府吹田市山田丘2-2:大阪大学眼科学教室 | | skittssm7923@yahoo.co.jp | 阪大眼科 H15 |
| 119 | 猪狩 圭介 | | | | | H16 |
| 120 | 近藤 学 | 755-8505 755-0049 | 山口大学医学部第3内科研究室：山口県宇部市南小串1-1-1 山口県宇部市西季芝2丁目2-5-302 | 0835-22-4411 0836-35-2524 | golgo0307@hotmail.com | H16 |
| 121 | 田浦 康明 | 654-0081 654-0081 | 兵庫県立こども病院 小児外科 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1 | 078-732-6961 | | H16 |
| 122 | 豊田 啓介 | 856-8562 | 長崎大学病院脳神経外科 | 095-819-7375 | enzokun7@yahoo.co.jp | H16 |
| 123 | 山口 仁平 | 852-8134 | 長崎市民病院耳鼻科 長崎市大橋町23-7 サンパーク文教通り603 | | yinmpei@hotmail.com | H16 |
| 124 | 吉武 記一 | 747-0836 | 山口県防府市大字植松1799 | 0835-29-0363 | kiichi_12.23@yahoo.co.jp | H16 |
| 125 | 高田 潤 | 533-0033 | 大阪市立大学病院整形外科 大阪府大阪市阿部野区旭町1-3-3 アベリナーザ408号 | 06-6320-4075 | ai05105@yoh.or.jp | H17 |
| 126 | 荒木 孝太郎 | 816-0814 | 福岡県春日市須玖北4丁目5番地：福岡徳州会病院 | 092-573-6622 090-7152-2717 | kotaroo02@hotmail.com | H18 |
| 127 | 夏田 孔史 | 856-8562 856-0026 | 国立病院機構長崎医療センター：長崎県大村市久原2丁目1001-1 大村市地田2丁目601-1 デイアコート池田B103 | | no_rain_no_rainbow1018@yahoo.co.jp | H18 |
| 128 | 冬野 誠也 | 814-0002 | 福岡市早良区西新2丁目21-8西新パークホームズ901 | | seijet@com.home.ne.jp | H18 |
| 129 | 山道 忍 | 852-8511 851-1131 | 長崎原爆病院：長崎市茂里町3-15 長崎市上浦町112 | 095-847-1511 095-841-0756 | bwspan147@ybb.ne.jp | H18 |
| 130 | 大場 修治 | 901-0493 | 南部徳州会病院：沖縄県島尻郡八重瀬町字外間 171番地1 | 098-998-3221 | s301027r@hotmail.co.jp | H19 |
| 131 | 茅田 洋之 | 653-0013 652-0803 | 神戸市長田区一番町2丁目4番地：神戸市医療センター西市民病院 神戸市兵庫区大開通5丁目2-33-202 | 078-576-5251 090-5285-5253 | inazawachainsaw1982@yahoo.co.jp | H19 |

| | | | | | | |
|-----|-------|----------------------|---|-------------------------------|----------------------------|--------------|
| 132 | 末下 雅也 | 855-0861 852-8116 | 長崎県島原病院:長崎県島原市下川尻町7895番地 島原市湊町87 | 090-9599-0007 | apple47@themis.con.ne.jp | H19 |
| 133 | 西山 光郎 | 752-8510 | 開門医療センター:下関市長府外浦町1番1号 | 083-241-1199 | | H19 |
| 134 | 原口 雅史 | 857-1195 857-0863 | 佐世保中央病院:佐世保市大和町15 佐世保市三浦町21-23 エムエー佐世保マンション801 | 0956-33-7151 | | 消火器内科 H19 |
| 135 | 松浦 良樹 | 891-0141 | 鹿児島市谷山中央5丁目20番10号:鹿児島生協病院 | 099-267-1455 | | H19 |
| 136 | 福島 真典 | 852-8501 852-8113 | 長崎大学病院:長崎市坂本1丁目7番1号 長崎市上野町3-2 201号室 | 095-819-7200 | ma_fu_numtr@yahoo.co.jp | H20 |
| 137 | 村田 慎一 | 901-2103 | 沖縄県浦添市仲間2-15-7 トリームマンション301号室 | | | H20 |
| 138 | 日野 直之 | 857-1151 | 佐世保中央病院:佐世保市大和町15 佐世保市日宇町2706-1 レビュー・リクエスト504号 | 0956-33-7151 090-4516-0301 | nao_hino_0921@yahoo.co.jp | H21 |
| 139 | 長哲太郎 | 590-8505 555-0024 | 耳原総合病院:大阪府堺市堺区協和町4-465 大阪市西淀川区野里1-12-24fairy court601号 | 072-241-0501 | tetsutarou.cho@gmail.com | H21 |
| 140 | 山本 悠造 | 810-0003 | 福岡市中央区春吉3-26-12 1003 | | | H21 |
| 141 | 笠原 優人 | 651-1112 | 兵庫県神戸市北区鈴藪台東町9丁目13番23サイコート鈴藪台201号 | | | H21 |
| 142 | 江頭 崇 | 852-8501 | 長崎大学病院:長崎市坂本1丁目7番1号 長崎市柳谷町12-13 | | | H21 |
| 143 | 小松 直広 | 852-8501 852-8112 | 長崎大学病院:長崎市坂本1丁目7番1号 長崎市本尾町27番26号スタジオビルズ102号 | | | H21 |
| 144 | 高橋 一臣 | 466-0814 | 愛知県名古屋市中区昭和区妙見町75-1 トーエム高峯4006号 | | omioniomii031@gmail.com | H21 |
| 145 | 梅田 雅孝 | 852-8501 | 長崎大学病院:長崎市坂本1-7-1 長崎市坂本2丁目8-10 ハイツ翼II 202号 | 095-819-7200 090-7388-2910 | masatakao807@m2.gyao.ne.jp | H22 |
| 146 | 古賀 俊充 | 296-8602 | 亀田総合病院:千葉県鴨川市東町929番地 | 04-7092-2211 | | H22 |
| 147 | 友延 寛 | 810-8563 814-0001 | 福岡市中央区地行浜1-8-1 福岡市早良区百道浜1-6-45-c314 | 092-852-0700 090-2964-7335 | tomonobe@live.jp | H22 |
| 148 | 濱口 陽 | 852-8501 | 長崎大学病院:長崎市坂本1-7-1 長崎市畑木34-5 | 095-819-7200 090-2969-3554 | hamahama0216@softbank.jp | H22 |
| 149 | 松岡 若利 | 815-8588 815-0074 | 福岡市南区塩原3丁目23番1号 福岡市南区寺塚1丁目3番5号/パロヴァイラ寺塚105号 | 092-541-4936 090-5725-8729 | | H22 |

長崎大学医学部漕艇部OB会役員名簿

| 氏名 | 勤務先 | | 勤務先電話番号 | | 役職 |
|--------|----------|------------------------------|--------------|--------------|-----------------|
| | 自宅 | 自宅電話番号 | 自宅電話番号 | 自宅電話番号 | |
| 須山 弘文 | 850-0803 | 玉木女子短大:長崎市風頭1-13 | 095-822-8694 | 095-822-8694 | 顧問 |
| | 852-8065 | 長崎市横尾二丁目4-5 | 095-856-1321 | 095-856-1321 | 前法医学教授 |
| 尾崎 正若 | 861-1102 | 熊本県菊池郡西合志町須屋2740-30 | 096-242-2761 | 096-242-2761 | 顧問 前第二薬理教授 |
| 山口 三次 | 852-8145 | 長崎市昭和町二丁目5-14 | 095-844-5272 | 095-844-5272 | 顧問 前県ボート協会会長 |
| 吉田 恒雄 | 850-0811 | 長崎市矢の平町2-19-26 | 095-825-4979 | 095-825-4979 | 顧問 県ボート協会会長 |
| 井上 健一郎 | 850-0045 | 井上病院:長崎市宝町8-9 | 095-844-1281 | 095-844-1281 | 事務局担当 |
| | 852-8102 | 長崎市坂本一丁目2-5 | 095-846-2218 | 095-846-2218 | |
| 西條 知見 | 852-8501 | 長崎大学病院第二内科 : 長崎市坂本1丁目7番1号 | 095-819-7274 | 095-819-7274 | 会計 |

長崎大学医学部漕艇部OB会賛助会員名簿

| 氏名 | 自宅 | 自宅電話番号 | 備考・卒業年度 |
|--------|----------------------|--------------|---------|
| 井上 満治 | 852-8052 長崎市岩屋町17-1 | 095-856-2711 | 開業・S19 |
| 片伯部 貢 | 852-8132 長崎市扇町2-22 | 095-844-3034 | 開業・S37 |
| 佐藤 安雄 | 850-0901 長崎市本石灰町5-11 | 095-822-0321 | 開業・日大 |
| 鈴谷 悦堂 | 852-8033 長崎市緑ヶ丘町1-4 | 095-846-2052 | 開業・S19 |
| 高木 聡一郎 | 850-0801 長崎市八幡町4-18 | 095-824-0590 | 開業・S20 |
| 石橋 盟士 | 852-8155 長崎市中園町22-17 | 095-845-6181 | 開業・S30 |
| 大須賀 浩 | 852-8002 長崎市弁天町17-1 | 095-861-3576 | 開業・S30 |

長崎大学医学漕艇部 公式ホームページ

since 2000

http://wiki.livedoor.jp/chodai_rowing/

～ Google で「長崎大学医学漕艇部」で検索できます～

ボート部の紹介、試合の記録、イベント情報、
部員ブログなどを載せています。

OB 専用掲示板もありますので卒業生同士の連絡に
もご利用ください。

OB 専用掲示板 URL



<http://6523.teacup.com/tauring/bbs>

編集後記

初めに、昨年八月に逝去された村山晋先生にこの場をお借りしてご冥福をお祈り申し上げます。

今回は村山先生の追悼を特集として組ませて頂き、村山先生と共に青春時代を過ごされた先生方からご寄稿いただきました。また村山先生の奥様には、突然のお願いにも関わらず会葬御礼の掲載を快く了承して頂きました。村山先生に直接お会いしたことのない私にも、文章から先生のお人柄が伝わってきました。

今回で部誌「漕魂」は第32号となりますが、OBの方々やその他関係者の皆様のご協力により無事完成しましたことを、厚く御礼申し上げます。「漕魂」を身近に置いて、ふとしたときに手にとって目を通して頂ければ幸いです。今後とも長崎大学医学部漕艇部をよろしくお願ひ申し上げます。

編集者代表 陣野 太陽

名簿の内容を以下のように訂正します。

氏名 _____ 年卒

現住所 _____

勤務先 _____

～通信欄～

【お願い】

毎回、住所録の不備についての苦情を耳に致します。私どもといたしましてもできる限りの努力をしておりますが、特に若いドクターを中心として異動の多い季節に発行するという時期的な問題もあり必ずしも完璧を期し難いのが現状です。

つきましては、氏名・住所・電話番号・勤務先等に変更または誤りがございましたら、上記のハガキにて長崎大学医学部漕艇部まで御通知下さい。

また、通信欄には、ボート部に対する要望や、「漕魂」に対する感想など書いて頂ければ幸いです。